

令和3年度

事業報告書

＜付属明細書＞

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

目 次

1	県民の生活課題の解決	
(1)	生活課題を抱える住民の支援	1
(2)	住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援	11
(3)	民生委員・児童委員の活動支援	13
(4)	東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備	15
2	住民の福祉活動の振興	
(1)	ボランティア活動の振興と福祉教育の推進	19
(2)	情報発信機能の強化	21
3	福祉人材の養成と確保	
(1)	福祉人材の養成とスキルアップ支援	21
(2)	福祉人材の確保とマッチングの強化	22
(3)	退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実	27
4	社会福祉事業経営の支援	
(1)	社会福祉事業経営の支援	30
(2)	適正なサービス評価の実施	31
5	多様な組織等との連携協働	
(1)	種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組と サービス利用者の福祉増進	32
(2)	多様な組織等との連携協働の推進	39
6	指定管理施設の管理運営	
(1)	ふれあいランド岩手の管理運営	46
7	県社協の活動基盤の強化	
(1)	県社協財政基盤の適正化	48
(2)	組織強化のための取組の推進	48
8	会務の運営	
(1)	理事会の開催	48
(2)	評議員会の開催	49
(3)	監事等による監査の実施	49
9	岩手県社会福祉大会	50

1 県民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援

① 社協・生活支援活動強化方針推進事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催

(ア) 生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：3月18日、北上市内、6人

内容：施設見学、実践報告、意見交換

(イ) コミュニティソーシャルワーク研究会

＜第1回＞ 「第26回地域福祉実践研究セミナーin 岩手・はなまき」と共催

期日、会場、参加者：新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

＜第2回＞ 「いわて“おげんき”みまもりシステムの推進について」

期日、会場、参加者：11月29日、オンライン開催、31人

(ウ) 市町村社協職員の研修体系の在り方委員会

＜第1回＞ 期日、会場：7月30日、ふれあいランド岩手

内容：社協職員に求められる職員像・資質・能力と研修内容について

＜第2回＞ 期日、会場：10月11日、ふれあいランド岩手

内容：各職層における社協職員として習得すべき知識とスキルについて等

＜第3回＞ 期日、会場：12月17日、ふれあいランド岩手

内容：市町村社会福祉協議会職員の研修体系の在り方委員会報告書(素案)について

＜第4回＞ 期日、会場：2月7日、ふれあいランド岩手

内容：市町村社会福祉協議会職員の研修体系の在り方委員会報告書(案)について

イ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

(ア) ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

[令和3年度見守りセンター設置社協等] 27市町村社協、34センター

盛岡市、宮古市(川井)、大船渡市、花巻市(本所・石鳥谷・東和・大迫)、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市(本所・浄法寺)、八幡平市、奥州市(江刺)、雫石町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町(本所・大野)、一戸町、流通センター不動産、岩手県

(イ) システム登録者数

1,290人(うち実利用者数267人)

(ウ) システム運用定例会議の開催(システム開発企業イワテシガ株・県社協)

開催日：4月7日、5月12日、6月9日、7月8日、8月2日、9月1日、10月6日、
11月10日、12月8日、1月6日、2月2日、3月2日

会場：ふれあいランド岩手

(エ) 重層的見守りにかかるICT活用研究会

期日、会場、参加者：11月29日、ふれあいランド(オンライン開催)、17社協29人

テーマ：「いわて“おげんき”みまもりシステムの推進について」

ウ 成年後見制度と日常生活自立支援事業の一体的な取組の推進

成年後見中核機関設置社協2市社協。一体的な取組は12社協で実施。

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア 地域福祉活動コーディネーター（CSW）の養成と支え合いマップ手法の習得支援

（ア）地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修会

期日、会場、参加者：前期 7月13日、14日、メトロポリタン盛岡、29人

後期 12月2日、3日、盛岡市総合福祉センター、27人（修了者）

内容：地域共生社会政策時代の地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク、個別事例検討、CSWの視点による個別課題アセスメント、CSWの視点による問題解決方針の立案と援助システム、ロールプレイ、ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性、CSWの展開と問題解決プログラム開発、日常生活圏域における支援システムの構築とソーシャルサポートネットワークの形成

（イ）地域づくり実践研修会

期日、会場、参加者：前期 12月16日、17日、岩手県立大学、28人

後期 2月14日、15日、ふれあいランド（オンライン開催）、33人

内容：重層的支援体制整備事業の概要と地域づくり事業、取組発表（遠野市における重層的支援体制整備事業への取組と地域づくり）、重層的支援体制及び地域づくり実践にむけた課題分析、住民を巻き込んだ地域福祉事業の展開、支え合いマップの意義と活用、取組発表（支え合いマップを用いた地域づくり）、多機関で取り組む地域福祉と機関への期待、組織としての支え合いマップの活用と推進、グループワーク（支え合いマップから見えるもの～ご近所内の住民流を探せ～）

イ 研修修了者のフォローアップ及び地域支援マニュアルの整備

（ア）CSW 継続研修会

上記の「地域づくり実践研修会」を本研修会に位置付けた。

（イ）地域支援マニュアルの作成

「社会福祉関係資料集」の作成

（ウ）CSW 修了者メーリングリストの普及・活用

CSW活動に関連する各種情報をメールで情報提供した（登録者130人）

（エ）支え合いマップ作成支援

a 一戸町社会福祉協議会（一戸町地域包括ケアシステム検討委員会）

実施日：5月25日、10月5日、11月9日、1月11日、2月8日、3月25日

支援内容：一戸町地域包括ケアシステム検討委員会「集いの場部会」オブザーバー

b 金ケ崎町社会福祉協議会

実施日：11月15日、1月17日、1月20日、1月24日

支援内容：ご近所支え合いマップ作成助成事業（モデル3地区）

③ 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催（再掲）

（ア）生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：3月18日、北上市内、6人

内容：施設見学、実践報告、意見交換

（イ）コミュニティソーシャルワーク研究会

＜第1回＞ 「第26回地域福祉実践研究セミナーin岩手・はなまき」と共催

期日、会場、参加者：新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

＜第2回＞ 「いわて“おげんき”みまもりシステムの推進について」

期日、会場、参加者：11月29日、オンライン開催、31人

(ウ) 市町村社協職員の研修体系の在り方委員会

＜第1回＞ 期日、会場：7月30日、ふれあいランド岩手

内容：社協職員に求められる職員像・資質・能力と研修内容について

＜第2回＞ 期日、会場：10月11日、ふれあいランド岩手

内容：各職層における社協職員として習得すべき知識とスキルについて等

＜第3回＞ 期日、会場：12月17日、ふれあいランド岩手

内容：市町村社会福祉協議会職員の研修体系の在り方委員会報告書（素案）について

＜第4回＞ 期日、会場：2月7日、ふれあいランド岩手

内容：市町村社会福祉協議会職員の研修体系の在り方委員会報告書（案）について

イ 懇談会の開催

(ア) 岩手県保健福祉部と市町村社会福祉協議会部会との懇談会

期日、会場、参加者：岩手緊急事態宣言の発表を受けて中止、書面要望に変更。

内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（5項目）

(イ) 市町村社会福祉協議会会長懇談会

期日、会場、参加者：11月16日、ホテルメトロポリタン盛岡、32社協58人

内容：基調報告、懇談会

ウ 役職員研修会の開催

(ア) 市町村社会福祉協議会新任職員研修

期日、会場、参加者：5月24日、25日、岩手県民会館、17社協35人

内容：講演、社会福祉協議会の基礎知識に関する説明、先輩職員による活動事例紹介等

(イ) 市町村社協中期経営計画策定推進セミナー

期日、会場、参加者：1月17日に開催予定であったが新型コロナ拡大により中止

内容：説明、講義、演習

(ウ) 地域福祉推進トップセミナー

期日、会場、参加者：2月1日、ふれあいランド岩手／オンライン開催、94人

内容：シンポジウム、実践報告、総括講演

(エ) 市町村社協経営研究会

期日、会場、参加者：12月6日、ふれあいランド岩手／オンライン開催、22社協43人

(オ) 県内市町村社協災害対応初動チーム員研修会

期日、会場、参加者：12月13日、ふれあいランド岩手／オンライン開催、26社協48人

エ 事務局長・地域福祉担当課長会議の開催

期日、会場、参加者：7月19日、ふれあいランド岩手／オンライン開催、32社協60人

内容：説明、講義

オ 県内市町村社協職員の災害対応初動チームの編成

登録者数：33社協52人

カ 中期経営計画策定アドバイザー派遣

(ア) 宮古市社協：10月17日、12月3日、2月4日

(イ) 一関市社協：6月29日、10月12日

(ウ) 二戸市社協：7月20日、8月26日、9月17日、10月29日、11月19日、12月13日、1月31日、3月23日

- (エ) 岩泉町社協：12月17日、1月21日
- (オ) 気仙地区社協：11月8日
- キ 新型コロナウイルス感染症が発生した社会福祉協議会への助成事業
 新型コロナウイルス感染症が発生した社会福祉協議会に対し、会員の相互扶助に基づく経営支援を目的に助成事業を実施した。
 助成額：7市町村社協、898,320円
- ク 社会福祉法人との連携・協働事例の発信
- (ア) 地域福祉推進トップセミナー（再掲）
 期日、会場、参加者：2月1日、ふれあいランド岩手／オンライン開催、94人
 内容：シンポジウム、実践報告、総括講演
- (イ) 社会福祉法人との連携・協働事例の発信
 福祉サービス実施状況調査により事例集約／12事例
- ケ 市町村社協組織運営、事業推進支援
- (ア) 岩手県保健福祉部と市町村社会福祉協議会部会との懇談会（再掲）
 期日、会場、参加者：岩手緊急事態宣言の発表を受けて中止、書面要望に変更。
 内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（5項目）
- (イ) 市町村社会福祉協議会会長懇談会（再掲）
 期日、会場、参加者：11月16日、ホテルメトロポリタン盛岡、32社協58人
 内容：基調報告、懇談会
- (ウ) 事務局長・地域福祉担当課長会議の開催（再掲）
 期日、会場、参加者：7月19日、ふれあいランド岩手／オンライン開催、32社協60人
 内容：説明、講義
- (エ) 社協の概要、役職員名簿の作成
 社協の概要：9月作成配布 役職員名簿：8月作成配布
- (オ) 市町村社協福祉サービス実施状況調査
 （令和4年5月配布予定）

④ 生活福祉資金貸付事業 [地域福祉企画部]

ア 貸付実績及び償還実績

市町村社協及び自立相談支援機関等と連携し、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した方への特例貸付が前年度に引き続き延長して実施されたことにより、申請や相談が非常に多い状況が継続し、市町村社協の協力を得て対応を行った。

(ア) 生活福祉資金貸付事業

a 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は4,767件、貸付中金額2,619,736千円で、この内で、最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は353件。

【令和3年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	2,251 件 (うち特例総合 2,250 件)	2,240 件 (うち特例総合 2,239 件)

【貸付決定資金種内訳】

※令和３年度においては貸付決定した 2,240 件の内訳。令和２年度に貸付決定した分の延長決定分は下記の金額に含まれない。

資金種	件 数	金 額
生活支援費	2,240 件	1,103,929 千円
(生活支援費のうち特例貸付)	(2,239 件)	(1,103,599 千円)
住宅入居費	0 件	0 千円
一時生活再建費	0 件	0 千円
合 計	2,240 件	1,103,929 千円

(b) 償還実績

償還金は 23,434 千円、対前年度比 805 千円減、償還完了件数は 62 件。償還率は年度合計 7.3%で、対前年度比 0.6%減。

b 福祉資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 8,384 件、貸付中金額 1,668,901 千円。最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 1,598 件。

【令和３年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	2,145 件 (うち特例小口 1,931 件)	2,107 件 (うち特例小口 1,901 件)
金 額	426,832 千円	416,920 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
福祉資金	101 件	56,650 千円
緊急小口資金	2,006 件	360,270 千円
(緊急小口資金のうち特例貸付)	(1,901 件)	(352,200 千円)
合 計	2,107 件	416,920 千円

(b) 償還実績

償還金は 72,169 千円、対前年度比 11,124 千円減、償還完了件数は 292 件。償還率は年度合計 23.4%で、対前年度比 2.6%減。

c 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 7,351 件、貸付中金額 5,031,858 千円。最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 399 件。

【令和３年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	298 件	287 件
金 額	253,745 千円	247,083 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
教育支援費	153 件	195,622 千円
就学支度費	134 件	51,461 千円
合 計	287 件	247,083 千円

(b) 償還実績

償還金は 307,879 千円、対前年度比 5,300 千円増、償還完了件数は 206 件。償還率は年度合計 45.7%で、対前年度比 3.1%減。

d 不動産担保型生活資金

令和 3 年度の新規貸付決定は 1 件 4,522 千円（要保護世帯向け）。

【貸付中債権内訳】

資金種	貸付中件数	貸付限度額の合計
一般	4 件	54,677 千円
要保護世帯向け	48 件	230,084 千円
合 計	52 件	284,761 千円

(イ) 離職者支援資金貸付事業(平成 12 年度創設／平成 21 年 9 月廃止)

年度末での債権の状況は、貸付中件数が 21 件、貸付中金額 11,156 千円。最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は 21 件。

償還金は 470 千円で対前年度比 82 千円減、償還完了件数は 2 件。

償還率は、年度合計 4.1%で対前年度比 0.4%減。

(ウ) 臨時特例つなぎ資金貸付事業(平成 21 年度創設)

a 貸付実績

年度末での貸付状況は、貸付中件数が 7 件、貸付中金額 387 千円。最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 7 件（100%）。

【令和 3 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	0 件	0 件
金 額	0 千円	0 千円

b 償還実績

償還金は 0 円で対前年度比なし。

イ 事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

a 新任者研修

特例貸付の対応及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし。

b 現任者研修

特例貸付の対応及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし。

(イ) 償還指導の実施及び債権管理

a 償還指導の実施

特例貸付の対応及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし。

b 償還免除、償還猶予

- ・ 償還免除決定件数 31 件（借受人の自己破産等による）
- ・ 償還猶予決定件数 120 件（借受人の進学や留年、償還困難等による）

(ウ) 生活福祉資金相談員の配置（市町村社協）

13 市町村社協 17.5 人

(エ) 貸付審査等運営委員会の開催

生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

本委員会及び小委員会 開催各 1 回（本委員会 7 月、小委員会 9 月）

(オ) 県民への広報活動

本会のホームページや広報紙で制度周知を行ったほか、各市町村社協において住民への周知を行った。

また、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを作成し、関係機関、関係団体へ配付した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高等学校、大学、専門学校等教育機関へも配付した。

⑤ 福祉人材確保等貸付事業 [福祉経営支援部]

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和3年度		備考
	新規貸付数	貸付金額	
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	62人	89,106千円	
介護福祉士県内養成施設	52人	84,132千円	
県内養成施設	48人	77,372千円	
県外養成施設	4人	6,760千円	
社会福祉士養成施設	10人	4,974千円	うち県外養成施設1人
介護福祉士実務者研修受講資金	46人	6,938千円	
再就職準備金	5人	1,422千円	
合 計	113人	97,466千円	

(イ) 貸付状況（令和4年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	213人	129人	5人	270人	29人	54人	700人
介護福祉士実務者研修受講資金	141人	64人	0人	77人	13人	21人	316人
再就職準備金	18人	—	—	16人	—	1人	35人

イ 保育士修学資金貸付等事業

岩手県における保育士資格の新規取得者の確保、保育士の離職防止、潜在保育士の再就職支援を図るため、指定保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対する修学資金のほか、潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用、未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和3年度	
	貸付数	貸付金額
保育士修学資金	31人	47,889千円
県内養成施設	25人	39,647千円
県外養成施設	6人	8,242千円
就職準備金	1人	122千円
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	—
合 計	32人	48,011千円

(イ) 貸付状況（令和4年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
保育士修学資金	56人	52人	—	—	6人	3人	117人
就職準備金	2人	—	—	5人	—	—	7人
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	0人	—	1人	0人	0人	1人

ウ ヒトリ親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業

ひとり親家庭の自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親へ訓練資金を貸し付け、資格取得を促進するとともに、自立に向けて意欲的なひとり親家庭の親へ住宅支援資金の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種 類	令和3年度	
	貸付数	貸付金額
入学準備金	4人	2,000千円
就職準備金	2人	400千円
住宅支援資金	0人	—
計	6人	2,400千円

(イ) 貸付状況（令和4年3月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
20件	10件	1件	0件	2件	33件

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種 類	令和3年度		
	貸付件数	貸付金額	実人数
生活支援費	8件	13,800千円	家賃+生活+資格3人、 家賃+生活5人、 資格のみ2人
家賃支援費	8件	9,598千円	
資格取得支援費	5件	1,145千円	
計	21件	24,543千円	10人

(イ) 貸付状況（令和4年3月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
21人	17人	1人	3人	1人	43件

※ 同一の借受人が別種の貸付を併用可能なため、借受人の重複あり

⑥ I W A T E あんしんサポート事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 組織の状況

参画法人：86法人

あんしんサポート相談員：264人

イ 活動状況

(ア) 生活困窮世帯等への支援

79件

- (イ) 中間的就労の場「就労準備ボランティア」の実施 12 法人、体験者数 1 人
 (ウ) 子どもの居場所「フリースペース」の実施 3 法人、利用者数 0 人

ウ 研修の実施

(ア) あんしんサポート相談員養成研修

<第 1 回> 期日、会場、参加者：6 月 29 日、岩手県水産会館、27 人

<第 2 回> 期日、会場、参加者：1 月 28 日、オンライン開催、11 人

(イ) 生活困窮者支援研修会

期日、会場、参加者：10 月 11 日、ふれあいランド岩手、32 人

エ 市町村社協等関係機関とのネットワーク会議（情報交換会）

県北ブロック：11 月 30 日、県北広域振興局、28 人

沿岸ブロック：12 月 4 日、オンライン開催、22 人

オ 会務の運営

(ア) IWATE・あんしんサポート事業運営委員会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(イ) IWATE・あんしんサポート事業連絡会議（県保健福祉部四課との情報交換）

期日、会場：2 月 10 日、岩手県水産会館

⑦ 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業 [地域福祉企画部]

ア 相談件数等

新規相談 221 件

自立プラン作成 42 件

家計再生プラン作成 10 件

就労・増収率 96%

イ 支援調整会議の開催

会場：県央 5 町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室等

内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センター、ハローワーク、社会福祉法人、弁護士、町社協、県社協等（ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更）

期日：雫石町 9 月（書面開催）、2 月（書面開催）

葛巻町 7 月 30 日

岩手町 10 月 13 日、12 月 9 日、2 月（書面開催）

紫波町 6 月 21 日、7 月 19 日、8 月（書面開催）9 月（書面開催）、10 月 18 日、11 月 15 日、12 月 20 日、1 月 17 日、2 月（書面開催）、3 月 22 日

矢巾町 4 月 13 日、5 月 11 日、6 月 8 日、7 月 6 日、8 月 3 日、10 月 5 日、11 月 9 日、12 月 7 日、1 月 11 日、2 月（書面開催）、3 月（書面開催）

ウ その他

支援調整会議と併せて開催された会議

- ・矢巾町自殺予防ネットワーク会議
- ・紫波町自殺予防ネットワーク会議

⑧ ひとり親家庭等総合支援事業 [地域福祉企画部]

ひとり親家庭の多様なニーズに包括的に対応し、支援の必要な家庭が様々なサービスを有効に

活用できるよう、民間団体や関係機関の緊密な連携による相談支援体制を整備するため令和 2 年 9 月から事業を実施した。

ア 岩手県ひとり親家庭等サポートネットワーク会議の開催

地域におけるひとり親家庭等を支える仕組みづくりを推進するネットワークを構築するため、関係団体等の代表者によるネットワーク会議を開催した。

第 1 回

期日、会場：6 月 7 日、書面開催

内容：前年度事業報告、事業推進に関する意見聴取

第 2 回

期日、会場：2 月 10 日、書面開催

内容：各機関・団体のひとり親支援の状況及び課題の共有、事例検討

イ 地域における連携体制の構築支援

広域振興局保健福祉環境部等（9 圏域）において設置を予定する「地域ネットワーク会議」の開催に係る支援を行う。

期日、圏域：6 月 28 日（二戸）、7 月 30 日（宮古）

ウ 支援者研修の実施

地域でひとり親家庭等の支援に携わる民生委員・児童委員などの対応力向上のため、次のとおり書面研修を実施した。

（ア）民生委員・児童委員対象（書面開催）

内容「ひとり親家庭等への支援～スクールソーシャルワークの実践から～」

圏域：一関保健環境センター千厩駐在、大船渡保険福祉環境センター、沿岸広域振興局、二戸保健福祉環境センター、花巻保健福祉環境センター

（イ）支援者対象

期日、会場：10 月 5 日（久慈市総合福祉センター）、10 月 21 日（県立福祉の里センター）、11 月 18 日（岩手県民会館）、12 月 2 日（奥州市総合福祉センター）

内容：「子の健やかな成長と世帯の安定のための養育費について学ぶ」

エ ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応

（ア）ひとり親家庭等やその支援者を支援するため、ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応を次のとおり行った。

相談対応件数：35 件（延べ件数 524 件）

電話等での相談対応のほか、相談者への訪問でも対応

（イ）ひとり親家庭等支援施策ガイドブックを用いた情報発信

ホームページにて継続的に情報発信

オ 家計相談・生活支援講習会及び個別相談

ひとり親家庭等の家計管理に関する課題解決のため、ファイナンシャルプランナー等の資格を有する者による講習会及び個別相談を行った。

（ア）ファイナンシャルプランナーによる講習会の実施

期日、会場、参加者：1 月 22 日、ふれあいランド岩手、5 人

内容：「いくらかかるの？教育費」ファイナンシャルプランナー 戸田節子 氏

（イ）個別相談

期日、会場：（ア）講習会と同日

相談件数：1 件

⑨ 障がい者不利益取扱い解消支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業

相談実績：2 件（電話受付 1 件、来所受付 1 件）

イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会開催中止

(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

県内 12 基幹社協に専門員 21.5 人、生活支援員 189 人を配置し、認知症高齢者等、判断能力の低下した方に対する援助を実施。

【実利用者数】令和 4 年 3 月 31 日現在

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
323 人	289 人	357 人	27 人	996 人 (うち生保 333 人)

ア 契約締結審査会の開催

回数、会場、参加者：毎月 1 回（うち書面開催 1 回、オンライン開催 2 回、中止 1 回）、岩手県民生活センター、委員 6 人及び基幹社協専門員等

イ 専門員情報交換会

期日、会場：毎月契約締結審査会後に開催（5 月、8～11 月、1～2 月は中止）、岩手県民生活センター

参加対象者：専門員等 25 人

テーマ：事業説明、各地域における支援の実施状況の共有等

ウ 定期業務点検

期間、対象：8 月～12 月、利用者ケースのある全市町村社協（支所、支部、事務所等を含む）

点検内容：日常的金銭管理の状況、個別ケース検討等

エ 事業説明等（県社協対応分）

運営監視小委員会、高齢者・障がい者なんでも 110 番、県高齢者権利擁護ネットワーク会議、各基幹社協関係機関連絡会議等

② 権利擁護人材育成事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 研修会

(ア) 新任専門員研修会

期日、会場、参加者：4 月 27 日、ふれあいランド岩手、11 人

内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（専門員活動の実際）

(イ) 新任生活支援員研修会

期日、会場、参加者：5 月 27 日、ふれあいランド岩手、27 人

内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義（利用者の特性、関わり方のポイント）、実践報告

(ウ) 専門員研修会

期日、会場、参加者：11 月 4 日、岩手教育会館、30 人

内容：講義（権利擁護制度の運用におけるアセスメント）、事例検討

(エ) 専門員・生活支援員研修会

期日、会場、参加者：12 月 6 日、アートホテル盛岡、116 人 ※集合とオンラインの併用

開催

内容：説明（事業概要、実務の流れ）、講義及び事例検討（利用者と関わる上でのポイント、利用者支援の振り返り）

③ 成年後見地域ネットワーク構築等支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 成年後見コーディネーターの取組（7 基幹社協に 0.5 人ずつ配置）

日常生活自立支援事業利用者等に対する成年後見制度利用支援実績

支援者数：18 人

【内訳】利用開始 11 人（うち日常生活自立支援事業利用者 9 人）、他機関支援引継ぎ 2 人、取下げ 5 人

イ 全県を対象とした岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議の開催への協力（県主催）

期日、会場、参加者：8 月 3 日、ふれあいランド岩手、委員 26 人

④ 成年後見制度利用促進研修事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 成年後見制度利用促進フォーラムの開催

期日、会場、参加者：11 月 8 日、ふれあいランド岩手、322 人 ※オンライン開催

内容：報告（県の取組状況）、基調講演（国の取組状況）、情報提供（県内の利用状況）、実践報告、情報交換

⑤ 福祉サービス苦情解決事業 [\[福祉サービス運営適正化委員会\]](#)

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数：委員 6 人 計 7 回開催（オンライン 1 回）

内容：苦情受付状況報告、苦情案件対応協議、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 福祉サービスの苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者：7 月 2 日、いわて県民情報交流センター、155 人

内容：サービスの質の向上に関する講演、事業所の苦情解決に向けた取組紹介

ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会（基礎研修）の開催

開催回数・参加者数：計 11 回（集合 5、リモート 6）、185 人（県内各地で開催）

内容：苦情解決の仕組みの説明。各事業所の苦情事例、対応等に関する情報交換

エ 福祉サービス苦情解決情報交換会（応用研修）の開催

期日、会場、参加者：11 月 15 日、いわて県民情報交流センター、45 人

11 月 29 日、いわて県民情報交流センター、57 人

内容：事業所における苦情事例検討及び講師による助言

オ 事業所巡回訪問の実施

実施事業所：40 か所（オンライン 23 回）

内容：苦情解決事業取組状況の確認、改善に向けた助言、情報提供等

カ 事業所研修会等に対する職員派遣

派遣回数・参加者数：計 2 回、29 人

キ 苦情・相談の受付・解決の概要

苦情相談 39 件及び一般相談（苦情解決の調整に至らなかったもの）94 件、計 133 件

前年度との比較では苦情相談が 3 件減少、一般相談が 27 件増加した。

(ア) 受付別件数

受付方法						合計	
来所		書面		電話			
苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般
3	2	0	7	36	85	39	94

(イ) 苦情内容別・解決結果件数

苦 情 内 容		受付	苦情解決の結果					
			①	②	③	④	⑤	⑥
			助言 申入	紹介 伝達	あつ せん	通知 知事 へ	その 他	継続 中
内 訳	①職員の接遇	20	20					
	②サービスの質や量	11	9	2				
	③利用料	2	1					
	④説明・情報提供	2	1					
	⑤被害・損害	2	3					
	⑥権利侵害	2	3					
	⑦その他	0	1					
合計		39	37	2	0	0	0	0

ク 広報啓発

広報紙パートナー9月号にセミナー事例報告を記事掲載。ホームページによる情報提供（運営適正化委員会の役割、事業報告書、苦情解決セミナー報告書、アンケート調査報告書等）。ポスターの提供

ケ 調査研究

苦情解決事業アンケート調査を579事業所に実施、報告書を取りまとめた。また、事業報告書に運営適正化委員会が受け付けた苦情概要を掲載した。

コ 運営監視小委員会の開催

委員数・開催回数：委員8人 開催5回（対象：県社協及び7基幹社協）、現地調査5回

内容：岩手県社会福祉協議会が市町村社協福祉協議会と連携して実施する日常生活自立支援事業の運営を監視し、必要に応じて助言・勧告、現地調査を行う。

サ 運営適正化委員会全体会の開催

委員数・開催回数：委員14人 開催1回

内容：事業報告、事業計画等

シ 委員選考委員会の開催

委員数・開催回数：委員6人 開催1回（書面）

内容：運営適正化委員の欠員補充選考

(3) 民生委員・児童委員の活動支援

① 民生委員児童委員活動支援事業 [地域福祉企画部]

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し、民生委員活動費等の交付事務を担った。また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会等

(ア) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：書類配布による研修を実施

内容：「児童を取り巻く状況と主任児童委員の取組への期待」についての講義（資料提供）

主任児童委員の取組に係る情報交換

(イ) 中堅民生委員児童委員研修会

期日、会場、参加者：11月12日（午前、午後同内容で計2回開催）、マリオス、177人
内容：民生委員・児童委員としての相談の受け方、相談支援技法（聴く・話すを中心に）

(ウ) 市町村民生児童委員協議会会長・副会長研修会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、集合研修から書類配布による研修に変更
対象者：民児協会長・副会長 560人

内容：「岩手県の自殺対策とゲートキーパー、民生委員・児童委員への期待」に関する講義・演習、活動事例報告

(エ) 新任民生委員児童委員研修会

開催地域	期 日	会 場	参加者
盛 岡	6 月 28 日（午後）	アイーナ	282 人
	6 月 29 日（午前、午後）	アイーナ	
	6 月 29 日（午前、午後）		
宮 古	7 月 21 日（午前、午後）	宮古市民文化会館	58 人
久 慈	7 月 16 日（午前、午後）	久慈市総合福祉センター	54 人
一 関	7 月 9 日（午後）	一関文化センター	161 人
奥 州	7 月 26 日（午前、午後）	Z ホール	134 人
北 上	書面開催	-	-
陸前高田	書面開催	-	-

内容：民生委員・児童委員、主任児童委員の役割と地域福祉活動課題講義、委員活動における課題の共有と解決に向けた実務に関する情報交換

(オ) 民生委員等を対象とした相談事業研修会

盛岡市内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことに伴い、集合研修の開催中止を決定し、書類配布による研修を実施

対象者：参加申込者及び県民児協正副会長、45人

内容：「事例学習を通して自分の考えの幅を広げよう！」というテーマに関する資料配布
参加者から提出のあった事例に行使のコメントを加え、「私に対応した相談事例集」を作成（3,910部）、配布

(カ) 岩手県保健福祉部と岩手県民生委員児童委員協議会との懇談会

期日、会場、参加者：7月12日、岩手県民会館、18人

内容：民生委員・児童委員の欠員解消、負担軽減及び将来的ななり手の確保等に関する懇談

(キ) 岩手県民生委員児童委員協議会役員による県知事表敬訪問

期日・会場：7月12日・岩手県庁知事室、11人

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：令和2～3年度

指定民児協：指定0件

(イ) 県民児協指定

指定期間：令和3～4年度

指定民児協：指定0件

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災した際のほか、配偶者が死亡した際、弔慰金や見舞金を給付すると

ともに、一斉改選退任者及び任期途中退任者へ慰労金の給付を行った。

給付件数、金額：95 件、1,044,000 円

内訳：	公務傷害	3 件	90,000 円
	配偶者死亡	17 件	510,000 円
	一般傷病(2 か月未満)	8 件	120,000 円
	一般傷病(2 か月以上)	36 件	400,000 円
	退任慰労(在任 9 年未満)	20 件	60,000 円
	退任慰労(在任 9 年以上 15 年未満)	4 件	20,000 円
	退任慰労(在任 15 年以上)	2 件	14,000 円

エ 助成事業

(ア) 広域民生児童委員研修等事業費の助成

研修事業の実施を支援するため、10 広域圏での助成実施案内を行い、うち 7 広域圏から助成申請を受け、民生児童委員協議会又は社会福祉協議会に助成金を交付した。

(イ) 市町村民生児童委員 OB 会への助成

市町村民生児童委員 OB 会組織・活動状況調査により活動を確認した 8 市町の 12 組織に対し、助成金を交付した。

オ 東日本大震災に関連する対応（県補助事業）

(ア) 沿岸地区民児協訪問事業

当初対面形式で開催予定だったが、岩手県内の新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことに伴い、事業の実施を中止した。

(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

① 東日本大震災被災者生活支援事業 [【地域福祉企画部】](#)

ア 生活支援相談員の配置

配置人数 66 人（3 月末、うち県社協 3 人）

活動対象世帯 2,880 世帯

支援延べ回数 55,689 回

イ 研修会の開催

(ア) ファシリテーション研修（全 3 回コース）

期日、会場、参加者：第 1 回 6 月 24 日、都南公民館（キャラホール）、23 人

第 2 回 7 月 9 日、都南公民館（キャラホール）、26 人

第 3 回 8 月 6 日、いわて県民情報交流センター（アイーナ）、23 人

内容：会議の進行や合意形成を得る過程の技術向上を図り、サロンや住民懇談会などにおいて住民の主体性醸成を促すためのファシリテーション技術を学ぶ講義と演習

(イ) 現地事例検討会 6 回（新型コロナの影響によりオンラインでの各社協ごとの開催に変更）

期日、会場、参加者：11 月 16 日、山田町社会福祉協議会、18 人

12 月 20 日、陸前高田市社会福祉協議会、12 人

12 月 20 日、大船渡市社会福祉協議会、16 人

1 月 24 日、大槌町社会福祉協議会、7 人

1 月 24 日、釜石市社会福祉協議会、9 人

1 月 25 日、宮古市社会福祉協議会、7 人

内容：事例検討を通じて生活支援相談員のこれまでの相談対応を振り返り、今後の支援の方向性について多角的な検証を行うことにより、被災者が抱える生活課題の軽減・解決に向けた取組の充実を図る。

(ウ) 支え合いマップ 取組勉強会 (全2回コース)

期日、会場、参加者：第1回 7月26日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、28人

第2回 10月18日、山田町中央公民館、43人

内容：講義及び作成した住民支え合いマップを用いた取組課題の検討を行い、住民と共に地域の福祉課題に取り組んでいくための支え合いマップの上手な活用方法を学ぶ。

(エ) 支え合いマップ取組検討会 (オンライン開催)

期日、会場、参加者：3月23日、オンライン開催、48人

内容：講義及び取組事例を通し、住民と共に地域の福祉課題に取り組んでいくための支え合いマップの上手な活用方法を学ぶ。

(オ) 地域へつなぐコーディネート研修 (全2回コース、第2回はオンライン開催に変更)

期日、会場、参加者：第1回 11月22日、岩手県公会堂、33人

第2回 2月3日、オンライン開催、25人

内容：講義及び演習により、社協組織として行うコーディネート機能、生活支援相談員に必要な視点を学び、具体的な地域支援の展開や支援ニーズのつながりを検討することを通して、チームとしてのコーディネート機能の発揮・向上を目指す。

(カ) 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：2月28日、オンライン開催、42人

内容：講義及び情報交換により、活動の振り返りや今後の方向性の共有・検討を行う。

(キ) アセスメント基準研修会

期日、会場、参加者：3月10日、オンライン開催、33人

内容：アセスメント基準からみる支援対象世帯の傾向を整理しその対応や支援の在り方を学ぶ。

ウ 生活支援相談員担当課長等意見交換会の開催

期日、会場、参加者：2月16日、オンライン開催、18人

内容：県地域福祉課及び県社協から「第2期復興・創生期間における被災者支援の方向性」の説明、今後の被災者支援の方向性についての意見交換。

エ 情報交換会の開催

【リーダークラスの生活支援相談員向け（新型コロナウイルスの影響のため1回に縮小）】

期日、会場、参加者：6月7日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、31人

内容：第2期復興・創生期間の被災者支援、地域支援に関する講義、情報共有等

【地域見守り支援拠点】

期日、会場、参加者：6月7日、大槌町文化交流センター（おしゃっち）、34人

内容：地域見守り支援拠点の取組実施状況の情報共有

【内陸生活支援相談員向け】

期日、会場、参加者：12月14日、北上市社会福祉協議会、9人

内容：活動の振り返り、思いの共有等

オ 令和3年度東日本大震災被災者実態調査研究の実施

被災者実態調査研究委員会（委員10人）

期日：7月27日、10月28日、12月21日、2月21日

内容：アセスメント基準票3,720件の集計・分析、調査研究報告書の発行（550部 その他、本会ホームページに掲載）

カ 地域見守り支援拠点の設置

宮古市1、大船渡市2、陸前高田市1、釜石市1、大槌町1、山田町4（出張拠点含む）

計10か所

キ 多職種・多機関による被災者支援

(ア) 災害公営住宅等自治会継続支援への出席

計 21 回：北上市県営黒沢尻アパート、山田町支援者ミーティング（自治会）

(イ) 各種連絡会議・打合せ・マップ作成等

計 36 回：宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、内陸避難者支援ネットワーク会議、県庁ミーティング、大規模災害公営住宅支援者交流会等

(ウ) アドバイザーの派遣

大船渡市（4 月 19 日）

内容：震災 10 年の振り返りと今後の方向性を検討する研修会

ク 「生活支援相談員ニュースレター」の発行

発行月：4 月～3 月 計 10 回発行

配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関

発行部数：139 部／1 回（その他、本会ホームページに掲載）

ケ 生活支援相談員活動事例集 2021 の発行

発行月：3 月

内容：講師助言コメント付きの生活支援相談員活動事例、拠点の取組・支え合いマップの取組のレポート、活動の振り返りレポート、事業の収束に伴う社協の取組等

配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協

発行部数：400 部

コ 生活支援相談員活動実績 対象 2,911 世帯 支援延べ回数 55,689 件

サ 現地連絡会議への出席

市町村	開催日
宮古市	1 月 26 日（オンライン開催に変更）
山田町	4 月 26 日、5 月 24 日、6 月 28 日、9 月 27 日、10 月 25 日、11 月 29 日、12 月 22 日、3 月 28 日

② 災害復興基金事業 [\[総務部\]](#)

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金のうち、特に使途明示のない寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

（単位：千円）

年度	積立額	取崩額	年度末残高
～平成 22 年度	5,559	—	5,559
平成 23 年度	150,662	0	156,221
平成 24 年度	19,263	28,000	147,484
平成 25 年度	32,151	13,047	166,588
平成 26 年度	7,205	10,141	163,652
平成 27 年度	5,555	11,398	157,809
平成 28 年度	5,083	22,694	140,198
平成 29 年度	4,865	14,921	130,142
平成 30 年度	349	11,290	119,201
令和元年度	7,298	10,413	116,086
令和 2 年度	4,107	8,692	111,501
令和 3 年度	1,701	5,407	107,795
計	243,798	136,003	

イ 令和3年度事業執行状況

(単位：千円)

	市町村社協		県社協	計
	件数	金額		
助成金	3	1,047	—	1,047
事業費	—	—	4,360	4,360
計	3	1,047	4,360	5,407

③ ボランティア・市民活動センター事業 [地域福祉企画部]

ア 東日本大震災等からの復興支援

ホームページ及び Facebook を活用した災害支援活動情報の発信を行った。

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（県総合防災訓練への参画）

参加機関打合せ：4月21日、6月22日

訓練実施日：9月4日（北上市及び西和賀町）

ウ 県社協災害ボランティアセンター設置運営マニュアル及び市町村社協災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの改訂

ワーキング会議の開催（12月10日、3月28日）

エ 災害ボランティアセンター設置運営研修等支援

（ア）広域市町村ネットワーク連絡会議の開催

平時からの関係機関、関係者の「顔の見える関係」の構築を目指し、県内 10 広域で会議の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1 広域で開催、9 広域で開催中止となった。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
気仙	9月17日	住田町	30人

（イ）災害ボランティアセンター設置運営研修の実施

災害時において、市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう、県内 10 広域で研修の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1 広域で実施、9 広域で中止となった。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
北上	9月4日	北上市	28人

④ 災害時広域支援ネットワーク(災害派遣福祉チーム)推進事業 [福祉経営支援部]

ア 事務局体制の強化

・マニュアルに基づく連絡訓練（7月5日、7月28日、8月7日、11月12日、3月19日）

・局内における派遣初動訓練（7月5日、7月28日、8月7日、11月12日、3月19日）

イ チーム員の養成（県委託業務）

新規募集：登録者 25 人（令和4年3月時点登録者 267 人）

登録研修：8月6日～7日、25 人修了

スキルアップ研修 1：11月12日～14日、22 人修了

スキルアップ研修 2：新型コロナウイルス感染症の感染防止のため開催中止

県及び市町村防災訓練参加等訓練の実施：県総合防災訓練の縮小により実施見送り

ウ チーム検討部会の開催（県事業） 7月16日

エ チーム員連絡協議会の開催（県事業） 県による実施なし

オ 他県の研修会等でのシンポジスト、講師等対応

全国知的障害者福祉関係職員研究大会、しが DWAT 研修等企画会議、レクリエーションセミナ

一、岩手災害医療ロジスティクス研修

⑤ 社会福祉施設等応援職員派遣調整事業 【福祉経営支援部】

介護施設及び障がい福祉施設で働く職員等が新型コロナウイルス感染症に感染等することにより、職員が不足する施設等に他の施設から応援職員を派遣する。(感染者発生施設へ職員を派遣し職員が不足する施設への応援として実施)

ア 応援派遣登録施設・人数

介護施設 57 施設、105 人

障がい福祉施設 33 施設、52 人

イ 派遣要請

派遣先 1 か所：延べ 31 日間・6 施設 8 人

2 住民の福祉活動の振興

(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

① ボランティア・市民活動センター事業 【地域福祉企画部】

ア 研修会の開催

(ア) ボランティア活動研究会の開催

期日、会場、参加者：6 月 9 日、金ケ崎町中央生涯教育センター、28 人（市町村社協職員等）

内容：実践報告「金ケ崎町社会福祉協議会の取組」

情報交換「地域の社会資源とどのように連携するか」

(イ) ボランティアコーディネーター研修会の開催

期日、会場、参加者：2 月 14 日、3 月 14 日、オンライン開催、20 人（市町村社協職員等）

内容：「ボランティアコーディネーターのためのファシリテーション技術を学ぶ」をテーマに、講義及び演習を実施。

(ウ) 暮らし支えるボランティアの集い

期日、会場、参加者：3 月 9 日、オンライン開催、62 人（ボランティア団体、学生、行政、市町村社協職員等）

内容：活動発表「高齢者・子ども・障がいのある方を対象にしたボランティア活動」

分科会「テーマ別情報交換」

全体会「まとめ」

(エ) 地域で育む福祉教育推進セミナー

期日、会場、参加者：8 月 4 日、盛岡市勤労福祉会館、21 人（市町村社協職員、教育機関職員等）

内容：説明「『地域で育む福祉教育ハンドブック』について」

事例発表 1「私たちが住む町をより良い町にするために」

事例発表 2「『合同総合防災訓練』の取組」

グループ討議「福祉教育推進に関する課題の共有を解決に向けて」

ウ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進

(ア)「2021 ボランティア体験 in いわて」の実施

期間：6 月 1 日～1 月 31 日

プログラム提供施設数、プログラム数：18 団体、22 プログラム

参加者総数：972 人

主な体験内容：施設利用者との交流や、介助等の手伝い、施設行事への参加、高齢者宅の清掃・見守り活動

(イ) ボランティア出前講座の実施

対象：企業・各種団体・学校・市町村社協等

内容：ボランティア基礎講座、キャップハンディ体験等

実績：6 か所、472 人参加

(ウ) いわて車いすフレンズ活動の支援（共同募金配分金事業）

県内工業高校 6 校の生徒が、破損等で使われなくなった車いすを修理・整備し、30 台の車いすの整備が完了した。

a いわて車いすフレンズ整備技術講習会

6 月から 7 月にかけて、県内各工業高校 6 校を訪問し、寄贈先の状況に関する講話、車いす修理、修理済み車いすの梱包作業を実施した。参加者は 34 人。

b 活動助成

1 校当たり 1 万円、計 5 万円を助成（1 校は辞退）

c 車いす輸送費のための使用済み切手・書き損じはがきの収集活動

令和 3 年度実績（累計）：172 団体、29 個人

(エ) 21 世紀スノーバスターズプロジェクト（共同募金配分金事業）

12 月から 3 月に、各地域のひとり暮らし高齢者や、障がい者等の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を充実させるための取組への支援を 8 市町村で実施した。

・活動助成

総額 220,000 円を 8 市町村 10 スノーバスターズの前年度活動実績に応じて助成

エ ボランティア団体の支援

(ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会

期日、会場、参加者：6 月 25 日、ふれあいランド岩手、30 人

内容：令和 2 年度事業報告、令和 3 年度事業計画案、情報交換

(イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席

新型コロナウイルス感染症の影響により、出席の依頼なし。

オ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート

(ア) 寄付・寄贈に係るコーディネート及び寄贈式の実施 6 件

助成金・寄付金 総額 111,400 円

福祉巡回車 1 台、車いす 26 台、使用済み切手 4.66 kg+13,592 枚

書き損じハガキ 337 枚

(イ) 企業による社会貢献コーディネートの実施 1 件

県内公共施設等に対する「アルコール入りハンドジェル」100 ケースの受入れ及び配布（12 市町村社協及び岩手県社協）

カ 情報発信

(ア) 県社協ホームページ及び「ずっぱりボランティアいわて」ホームページ

県内のボランティア活動、助成金情報、研修会等の案内を発信した。

(イ) 「岩手県社会福祉協議会災害関連情報ページ Facebook」

災害ボランティアに関する活動情報等発信した。

(ウ) 「いわての NPO・ボランティア活動情報誌 PIN・パイン」

年 4 回、6・9・12・3 月に、ボランティアに関する基礎知識、ボランティア体験 in いわて、ボランティア保険に関する寄稿を行った。

キ その他

(ア) 企画委員会

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：8月24日、オンライン開催、12人

内容：県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育メニューの展開、ボランティアコーディネート力及び情報発信力の向上、VC機能向上）

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：3月17日、オンライン開催、11人

内容：県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育メニューの検討、ボランティアコーディネート力及び情報発信力の向上、VC機能向上）

※福祉教育メニュー（目標：1メニュー以上、）は、令和3年度の企画委員会での協議を経て、令和4年度から4メニューの実施を予定。

(イ) 運営委員会

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：11月25日、オンライン開催、9人

内容：令和2年度県社協ボランティア・市民活動センターの事業実施状況について

令和3年度県社協ボランティア・市民活動センターの事業進捗状況について

県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：3月23日、書面開催

内容：令和3年度県社協ボランティア・市民活動センターの事業実施状況について

令和4年度県社協ボランティア・市民活動センター事業の進め方について

(2) 情報発信機能の強化

① 機関紙「パートナー」発行及びホームページ等による情報発信事業 [\[総務部\]](#)

本会の機関紙「パートナー」を年6回（毎号5,000部）発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。（ホームページ年間アクセス回数：18.5万回）

3 福祉人材の養成と確保

(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援

① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座 [\[福祉人材研修部\]](#)

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ア～エは中止とした。

ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座（中止）

イ 社会福祉従事者新任職員研修会（中止）

ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会（中止）

エ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会（中止）

オ 介護職員実務者研修通信課程

介護福祉士国家試験の受験資格の一つである介護職員実務者研修について、全国社会福祉協議会

中央福祉学院が実施する通信課程のスクーリングを受託実施した。受講者は1人（修了者1人）。

② 介護職員等医療的ケア研修事業 [福祉人材研修部]

ア 令和3年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号、第二号研修）指導者養成講習

期日、会場：【講義・演習】 9月10日・11日、アイーナ・ふれあいランド岩手

【指導演習】 10月20日、21日、アイーナ

参加者（修了者）：34人（32人）

内容：介護職員等による医療的ケアの実施、研修カリキュラム、喀痰吸引のケア実施、経管栄養のケア実施、安全管理体制とリスクマネジメント等の講義及び演習

イ 令和3年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）基本研修（講義・演習）及び実地研修

期日、会場：【講義】 6月7日、14日、21日、7月5日、12日、8月10～12日、17～19日、24～26日、30日、31日、アイーナ

【演習】 9月29日～10月1日、10月19～21日、アイーナ

【実地研修】 10月13日～1月15日、所在する施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：149人（128人）

（イ）介護福祉士養成校等修了者であって、医療的ケア研修基本研修：講義及び演習の修了者を対象とした技術確認演習及び実地研修

期日、会場：【実地研修】 8月20日～11月20日、施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：125人（116人）

ウ 令和3年度介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

期日、会場：【実地研修】 8月20日～11月20日、施設・事業所又は居宅

参加者（修了者）：7人（修了者2人）

（2）福祉人材の確保とマッチングの強化

① 福祉人材センター運営事業 [福祉人材研修部]

ア 福祉人材無料職業紹介

「福祉人材情報システム」を運用し、無料職業紹介所として、求人求職のあつせんを中心に事業を行った。求職者に対し、就職や資格取得に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行ったほか、毎月第2土曜日を相談日として開所し、利用促進を図った。また、社会福祉法の一部改正による離職した介護福祉士等の届出制度は、登録者の増を目的に各種の広報周知に努めた。

【求人・求職の実績】

年度	新規求人数 (人)	新規求職数 (人)	採用数 (件)	求人求職相談数 (件)
令和3年度	4,479	1,005	182	6,961
令和2年度	4,839	1,012	172	7,085
令和元年度	4,769	1,046	177	8,166
平成30年度	4,833	1,064	168	7,620
平成29年度	4,569	1,135	172	6,912

イ 各種会議・研修会への参加

（ア）業務・法令研修会

期日、会場：6月29日、オンライン開催

（イ）福祉人材情報システム今次改修内容に関する説明会（オンライン）

期日、会場：3月4日、オンライン開催

(ウ) 福祉人材センター全国連絡会議

期日、会場：9月29日、オンライン開催

(エ) 北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議（秋田県）

期日、会場：12月1日、オンライン開催

(オ) 岩手県介護労働懇談会（介護労働安定センター岩手支部主催）

期日、会場：10月21日、プラザおでって

(カ) いわてで働こう推進協議会担当者会議

期日、会場：6月4日、岩手教育会館

(キ) いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームにかかる担当者会議

期日、会場：6月28日、盛岡第2合同庁舎（岩手労働局）

(ク) いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議

期日、会場：2月8日、盛岡第2合同庁舎（岩手労働局）

(ケ) 福祉人材センター・バンク基幹職員会議

期日、会場：10月22日、オンライン開催

(コ) 社会福祉研修実施機関代表者連絡会議

期日、会場：3月11日、オンライン開催

ウ 主催会議

(ア) 福祉人材センター運営委員会

＜第1回＞ 期日、送付人数：9月、13人

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、資料を送付による書面開催とし、4人の委員から提出があった意見に対し、回答した。

＜第2回＞ 期日、送付人数：3月、13人

第1回と同様、資料を送付による書面開催としたが、委員から意見提出はなかった。

(イ) 福祉人材養成関係機関等連絡会議

期日、会場、参加者：12月8日、アイーナ、18人

内容：若い世代への福祉の仕事への関心を高めるための取組及び課題について、福祉施設・事業所における人材育成・定着のための取組及び課題について

エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設

制度の説明及び周知を行うとともに、制度対象者の手続を行った。

・特定求職者雇用開発助成金の申請 18件

内訳：高年齢者12件、生涯現役コース（65歳以上）4件、母子家庭の母等2件

オ 広報・啓発事業

(ア) 岩手県福祉人材センターのPR

センターの周知、PRを目的に、オリジナノベルティグッズとして、わんこ兄弟付箋300セット、オリジナルクリアファイル1,000枚、エコバック500袋を作成し、新規求職登録者へ配布した。

また、センター紹介動画（3分15秒）を作成し、センターホームページ、Youtubeで公開した。

(イ) 求人情報紙・地域情報紙、マスメディア等を活用した広報事業

「めんこいテレビ」、「テレビ岩手」、「エフエム岩手」でのCM放送で岩手県福祉人材センター・介護人材マッチング支援事業のPRを行ったほか、「介護・保育・福祉の就職相談会」等のイベント開催に当たっては、情報紙悠遊（5月25日号、10月26日号）、Googleバナー広告（4月29日から5月20日まで）掲示を通じ、福祉の就職相談会の開催周知、PRを行った。

(ウ) 岩手県福祉人材センターホームページ

令和2年度に改修したホームページにより、随時、事業案内、求人情報、各種資料等を情報発信を行った。

(エ) 資料等の展示

NPO 活動交流センター主催の「N 活フェア」の活動紹介パネル展示に応募し、岩手県福祉人材センター、岩手県保育士・保育所支援センター、介護人材マッチング支援事業の事業周知を行った。(展示期間：11月2日から11月9日、展示場所：いわて県民情報交流センターアイーナ6階ラウンジ)。

カ 「介護・保育・福祉の就職相談会」の開催

福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として2回開催した。

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：5月30日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING、
出展事業所33、参加者59人

内容：事業所PR、個別面談会

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：11月20日、ツガワ未来館アピオ、出展事業所153、
参加者241人

※いわて定住財団主催いわて就職マッチングフェアVと併
催

内容：個別面談会（当センターへの相談：19人）

キ 事業所訪問

期日、訪問先：1月27日、盛岡市シルバー人材センター

ク 就職面接会、就職ガイダンス等への参加

- ・(公財) ふるさといわて定住財団（計1回）
- ・日建学院（5回）
- ・ハローワーク等関係団体（計62回）

ケ 福祉人材養成校でのガイダンス・相談会の実施

- ・岩手女子高校（4月19日）

コ 小学生・中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業（出前講座）の開催

将来福祉・介護サービスの担い手となる若年層に、福祉人材の重要性和福祉の仕事の魅力を伝え、将来の進路選択につなげることを目的に、地域の福祉施設・事業所の職員を学校に派遣し講座を行った。（「出前講座」資料、小冊子作成）

実績：合計8校、8回、430人

内訳：小学校2校99人、中学校4校286人、高等学校2校45人

サ 介護福祉士等届出制度の推進

登録者84人（年間目標40人）

シ ふくしの仕事体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者に対し、障がい・児童分野の仕事への理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所で、しごと体験事業を実施した。

実績：体験総数 延べ5人

② 介護人材マッチング支援事業 **【福祉人材研修部】**

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に7人のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向け

た指導・助言などの事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

盛岡市（2人）、奥州市、久慈市、釜石市、宮古市及び大船渡市（各1人）に計7人を配置

イ 事業実施内容 ※（ ）内は前年度実績

（ア）各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設（定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加）及び臨時的相談対応

実施状況：求職者相談 2,221（2,215）件、採用者数 264（259）人

（イ）福祉施設・事業所の計画的巡回訪問と求人開拓

実施状況：事業所訪問 477（489）件、新規事業所開拓数 2（5）件

新規求人開拓数 87（73）件

（ウ）各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：727（894）件

（エ）介護職の潜在有資格者に対する福祉業界への再就職を支援する講座

開催地：二戸、久慈、盛岡、北上、一関、宮古、釜石、大船渡

参加者：55（59）人

（オ）介護施設見学バスツアー

開催地：県央2回、県北、宮古、県南

参加者：32（48）人

（カ）小規模事業所を対象とした合同面談会

開催地：盛岡（2回）、県北（2回）、県南、宮古、釜石、大船渡

参加状況：参加事業所 47（198）、参加者 120（154）人

（キ）小規模事業所合同研修会

開催地：久慈、盛岡、岩手中部、胆江、両磐、宮古、釜石、気仙

実施状況：27（27）回、参加事業所 198（136）、参加者 428（413）人

（ク）介護カフェ～はじめの一步～（介護のしごと悩み相談会）

開催地：久慈、盛岡（2回）、奥州、北上、宮古、釜石、大船渡

実施状況：8回（8）、参加者 51（38）人

（ケ）介護入門研修会

開催地：盛岡（2回）

終了者：19（25）人

ウ 各種会議・研修会への参加

（ア）業務・法令研修会

期日、会場：6月29日、オンライン開催

（イ）北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議（秋田県）

期日、会場：12月1日、オンライン開催

（ウ）マッチング機能強化研修

期日、会場：12月10日、オンライン開催

（エ）ブロック別マッチング機能強化研修

期日、会場：12月1日、オンライン開催（主催：秋田県社会福祉協議会）

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

実績：体験総数 58（59）人（平均 49.62 歳／体験日数 2.58 日）

介護の職場への就職者 36 (44) 人 (62.0%)

オ 情報紙の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報紙「エール」を発行（年 3 回・各 1,500 部）した。

③ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業 [【福祉人材研修部】](#)

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置。専任コーディネーター 2 人体制で、求人求職のマッチングに向けて、保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

	潜在保育士	その他保育士	保育所等	その他施設	計
マッチング	81 件	33 件			114 件
相談件数	595 件	264 件	458 件	20 件	1,337 件

※保育士・保育所支援センターの相談支援を経て保育士が就職した場合、マッチング成功としてカウント

イ 令和 3 年度児童福祉研修事業（保育士人材確保）

（ア）新任保育士（就業継続支援）研修会

期日、会場、参加者：10 月 12 日、ふれあいランド岩手、96 人（対面式 21 人、動画配信式 75 人）

（イ）潜在保育士（再就職支援）研修会

期日、会場、参加者：10 月 21 日、11 月 25 日、12 月 23 日 ふれあいランド岩手、43 人

ウ 県内保育所訪問・自治体等の訪問

訪問回数：41 回

エ 潜在保育士向けニュースレターの発行

発行回数：1 回

オ ほいくしかフェの開催

潜在保育士の再就職を支援するため、ほいくしかフェを開催した。

<第 1 回> 7 月 29 日 ふれあいランド岩手、8 人

<第 2 回> 8 月 26 日 北上市総合福祉センター **【3 月に延期後、中止】**

<第 3 回> 10 月 11 日 ジョブカフェはなまき、4 人

<第 4 回> 12 月 8 日 ふれあいランド岩手、2 人 計 3 回 延べ 14 人

カ ほいくのしごと出張相談の実施

実施回数：58 回（延べ 81 人）

キ 広報・周知

保育士・保育所支援センター及び実施事業の周知、PR のため、Be-job（6 月 10 日号）、情報紙悠遊（6 月 29 日号、10 月 26 日号）、子育て情報誌 fam（9 月 1 日号）に広告掲載したほか、自治体広報紙への記事掲載を依頼し、周知を図った（35 回）。

ク 「介護・保育・福祉の就職相談会」への出展

介護・保育・福祉の就職相談会内に保育コーナーを設置し、就職説明会を実施した。

<第 1 回> 期日、会場：5 月 30 日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

<第 2 回> 期日、会場：11 月 20 日、ツガワ未来館アピオ、

※いわて定住財団主催いわて就職マッチングフェア V と併催

キ 会議への参加

保育士・保育所支援センター実施福祉人材センター連絡会議

期日、会場：11 月 24 日、オンライン開催

④ 介護等体験受入調整事業 [福祉経営支援部]

ア 介護等を体験した学生

	大学	短大	計
県内	14 人	0 人	14 人
県外	0 人	0 人	0 人
計	14 人	0 人	14 人

イ 体験を受け付けた学校数

	大学	短大	計
県内	2 校	0 校	2 校
県外	0 校	0 校	0 校
計	2 校	0 校	2 校

ウ 受け入れた施設数

7 施設

(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実

① 民間社会福祉事業職員共済事業 [総務部]

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成 27 年 3 月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

総合利回りの目標は年率 3.0%とし、これまでの 3 資産バランス運用（指定単独運用・包括信託）に加え、新たにパッシブ運用（指定単独運用・金銭信託以外の金銭の信託）を組み入れ、最終の修正総合利回りは 3 資産バランス運用が年率 2.19%、パッシブ運用が年率 4.42%となった。

また、財政の状況を示す令和 3 年度末現在の責任準備金率は、前年度から 1.8 ポイント上昇して 76.9%となり、積立水準回復計画による「金融機関による収支予測計算の結果」、令和 3 年度の 77%を 0.1 ポイント下回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

令和 3 年度末 加入状況		令和 2 年度における会費受入・給付状況 (百万円)			
加入 施設団体	加入人数	会費収入	給付金	(内訳)	
				退会給付金	慶弔見舞金
756	13,125 人	1,826	1,313	1,306	7

イ 資産の状況

(ア) 資産運用内訳

(単位：百万円)

		国内		外国		その他 資産	短期 資産	普通 預金	計
		債券	株式	債券	株式				
三菱 UFJ 信託銀行	指定単独運用・包括信託	2,988 (42.3%)	707 (10.0%)	1,655 (23.4%)	904 (12.8%)	289 (4.1%)	523 (7.4%)	-	7,066 (100.0%)
	特定単独運用・包括信託	-	-	109	-	-	-	-	109
	指定単独運用・金銭信託 以外の金銭の 信託	3,268 (45.4%)	1,391 (19.3%)	844 (11.7%)	1,694 (23.5%)	-	-	-	7,197 (100.0%)
岩手銀行ほか		-	-	-	-	-	-	1,707	1,707
合 計		6,256	2,098	2,608	2,598	289	523	1,707	16,079

(イ) 資産運用の増減内訳

(単位：百万円)

信託区分	前期末残高 (A)	期中追加額 (B)	期末時価残高 (C)	期中評価損益 (C)-(A+B)
指定単独運用・包括信託	6,935	0	7,066	131
特定単独運用・包括信託	108	0	109	1
指定単独運用・金銭信託以 外の金銭の信託	6,900	0	7,197	297
合 計	13,943	0	14,372	429

※期末時価残高に未収収益 14 百万円は含まない。

(ウ) 運用収益率（信託報酬控除前）

(単位：百万円)

信託区分	実現利回り		総合利回り		修正総合利 回り
	実現損益	利回り	総合損益	利回り	
指定単独運用・包括信託	237.8	3.54%	152.3	2.27%	2.19%
特定単独運用・包括信託	1.0	1.00%	1.0	1.00%	1.00%
指定単独運用・金銭信託以 外の金銭の信託	0.0	0.00%	305.1	4.42%	4.42%

※信託報酬は 30.6 百万円

(エ) これまでの運用実績（修正総合利回り・信託報酬控除前）

(年率)

年度	H29	H30	R 1	R 2	R 3
指定単独運用・包括信託	0.83%	1.08%	0.12%	6.79%	2.19%
特定単独運用・包括信託	0.60%	1.11%	1.47%	1.83%	1.00%
指定単独運用・金銭信託以 外の金銭の信託	—	—	—	—	4.42%

ウ 財政状況

(単位：百万円)

年度	H29	H30	R 1	R 2	R 3
責任準備金 A	18,869	19,523	19,759	20,232	20,956
積立金 B	13,548	13,948	14,098	15,192	16,116
差 額 B-A	△5,321	△5,575	△5,661	△5,040	△4,840
責任準備金率 B÷A	71.80%	71.44%	71.35%	75.09%	76.90%

※責任準備金率：将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

積立金には、未収会費 37.8 百万円を含む。

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

- ・会費及び事業主負担額を現行の 1000 分の 50 から 1000 分の 57.5 に引上げ（平成 27 年 7 月 1 日から実施）

(イ) 給付事業の見直し

- ・慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止（平成 27 年 4 月 1 日から実施）
- ・健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止（平成 28 年 3 月 31 日をもって廃止）

(ウ) 資産運用の経費の節減

- ・資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り 3%の達成と、運営事務費（人件費、事務諸費）の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

- ・平成 27 年度から 35 年間

(オ) 定期検証の実施

- ・毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のうえ

定期検証を実施

(カ) 計画の変更

- ・計画実施後3年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を0.1ポイント以上下回った場合は、その翌年度の7月以降の会費は1000分の57.5から1000分の60に引上げ

② 福利厚生センター受託事業 **〔総務部〕**

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業PRの実施

いわて福祉だより（パートナー）に事業案内を掲載するなどしてPRを図った。

年度	H29	H30	R 1	R 2	R 3
会員数（人）	4,323	4,190	4,005	3,942	3,759

イ 福利厚生企画・情報会議の実施

期日、会場：6月（書面開催）、9月（書面開催）

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等で構成する企画・情報会員、福利厚生推進による魅力ある会員交流事業の企画協議と新型コロナ「岩手緊急事態宣言」解除に伴う意見交換

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

事業内容	参加者数
前沢牛オガタ商品券購入助成(～7月31日)[新]	129人
寛ぎのお宿で1泊2食満喫プラン(10月23・30日、11月15・16・20日)	61人
源泉かけ流し温泉と旬の味覚を楽しむ「休暇村岩手網張温泉日帰り会食」(10月23日～12月26日)	43人
源泉かけ流し温泉と旬の味覚を楽しむ「ガーデンリゾート風の季 日帰り会食(10月1日～12月27日)	82人
アートホテル盛岡レストラン食事券購入助成(10月上旬～1月31日)[新]	100人
映画鑑賞割引助成事業(10月1日～1月31日)	448人
岩手県内日帰り温泉入浴券購入助成(11月上旬～3月31日)[新]	143人
スキー&スノーボードリフト券購入助成(シーズン開始～終了)	787人
釜石～日本料理店『和の膳みや川』～ソウェルクラブ会員様限定「みや川のおせち」でよい年を迎えましょう!!(12月31日)	75人
マスク&手指消毒剤セットの配布「こんなコロナ禍、こんな事業があっている」(1月)[新]	473人
グルメ交流会 in 北上「ソウェルクラブ会員様特別コース！本格鉄板焼きでいただく魚介と特選牛ステーキ」(一部ギフト券へ)(1月14日～2月27日)	61人
和かな商品券購入助成(2月)[新]	55人
おうちでグルメ グリーンピアの贅沢弁当～三陸道全線開通記念～(2月18・23・26日)	100人
歴史ある釜石の老舗料亭『幸楼』の仕出しを楽しんでみませんか「家呑みセット・和牛ステーキ重」をソウェル企画セットで提供!! (2月26日)[新]	31人
お家で楽しむいわての名産品(3月)[新]	512人

4 社会福祉事業経営の支援

(1) 社会福祉事業経営の支援

① 障がい者就労・社会参加支援受託事業 [福祉経営支援部]

(ア) 農林水産業者等と事業所の役務等の業務受注に向けたマッチング支援

a 事業所と農林水産業者等とのマッチング支援

	成立	検討中	紹介のみ	不成立
農業者とのマッチング	11 件	1 件		1 件
受託作業	49 件	1 件	1 件	4 件
商品販売取引の仲介	20 件		1 件	3 件
食品加工	0 件	3 件		
合計	80 件	5 件	2 件	8 件

b 事業所の商品や役務の調査及びデータベース化

障がい者就労支援事業所を訪問し、保有する資機材等の設備、受注している作業等を調査

訪問事業所 57 事業所 ※ 内、販売活動や受託作業を行う生活介護事業所 2 事業所、就労移行支援事業所 1 事業所を含む。

c a の取組状況及び b で整理した情報の発信

企業等からの作業依頼があった際、把握した情報を基にマッチング又は受託可能な事業所の情報提供を実施。

なお、情報発信については、岩手県と協議しながら発注先に必要な情報を網羅しているかを確認しながら、発信する情報内容及び発信方法を検討していく。

(イ) 普及啓発及び販路拡大支援

a 事業所製品の周知及び販売会の開催

沿岸で 3 月に販売会の開催を検討していたが、岩手県独自の緊急事態の実施により、開催を取り止め

b 農福連携マルシェ

期日、会場：12 月 5 日 青山町朝市

12 月 12 日 青山町朝市 売上額 12,340 円

※ 2 月 10 日、11 日に盛岡駅を会場に農福マルシェの開催準備を行っていたが、岩手県独自の緊急事態の実施により、開催を取り止め

(ウ) 事業所向け研修会等

a 農林水産業者等が障がいや障がい者を理解するための研修会の開催

開催回数 13 回、参加者 105 人

・本会企画研修又は他機関企画研修での講師対応 7 回、76 人

・事業所の視察研修調整 1 回、7 人

・本会職員のアドバイザー対応 5 回、22 人

b 事業所職員が農林水産業等を理解する施設職員向けセミナーの開催

開催回数 11 回、参加者 105 人

・本会企画研修 5 回、延べ 20 事業所 26 人

・事業所の視察研修調整 1 回、2 事業所 3 人

・本会職員のアドバイザー対応 4 回、20 人

c 特別支援学校等での出前講座・体験学習・説明会

実施回数 13 回 実施校数 10 校

農業従事者又は事業所職員に対象を切り替えて実施分 3回

参加者数 226人

(エ) その他、事業に必要な調査、課題把握及び事業実施の効果と検証

事業所の商品や役務の調査及びデータベース化に係る事業所への訪問調査において、事業所個々に抱える課題のヒアリングもあわせて実施

② 共同受注窓口事業 **【福祉経営支援部】**

取扱売上高 27,769,762円

ア 令和4年3月末の加入事業所 92事業所（重複契約あり）

販売契約 57事業所

役務・請負契約 79事業所

イ 商品販売売上総額 17,354,180円

常設店舗、ネットショップ等での販売

主な販売先：イオンスーパーセンター、イオン東北、マイヤ、岩手県庁生協、岩手空港ターミナルビル、岩手県自動車整備商工組合のほか、県内外の官公庁、企業、福祉事業所等

ウ 日本セルフセンター福祉施設向け商品販売売上総額 402,899円

エ 役務・請負委託業務の受注 受注総額 9,984,483円

(ア) 役務・請負委託業務の受注

官公庁、本会種別協議会を中心に、118業務 6,826,089円を受注

(イ) 農業に関する作業（農福連携）業務の受注

りんご栽培、野菜の水耕栽培等に係る業務を受注 5業務 1,638,853円

(ウ) 企業からの継続的な役務・請負業務の受注

通年で6業務を6事業所が受注 受注額 1,519,541円

オ イベントでの出店販売

新型コロナウイルス感染症の影響で、出店販売を予定していたイベントが開催中止となった結果、

1イベントに1事業所の出店販売を調整 売上 28,200円

カ ホームページを活用した加入事業所の活動紹介及び商品情報の発信

いわては一とふる図鑑セレクトショップホームページ（共同受注センターホームページ）に会員事業所製品情報を掲載（ギフト商品のみ本会で受注）

食品 271アイテム

飲料 62アイテム

雑貨 142アイテム

ギフト商品 18アイテム

(2) 適正なサービス評価の実施

① 福祉サービス第三者評価事業 **【福祉経営支援部】**

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内外の福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

7事業所

高齢者施設0か所、障がい児（者）施設6か所、社会的養護関係施設1か所、保育所0か所、救護施設0か所

イ 会議の開催

事前合議、合議、決定委員会 各 7 回開催

ウ 研修会の開催

(ア) 第三者評価調査者養成研修会（岩手県知事承認研修）

期日、会場、参加者：7 月 27～28 日、10 月 11～12 日、19 日、岩手県民会館及びふれあいランド岩手、4 人

内容：新型コロナの影響で施設訪問による実習の代わりに、模擬ヒアリングや演習を実施。最終日に 4 人全員へ修了証を交付した。

(イ) 第三者評価調査者継続研修会

期日、会場、参加者：3 月 14 日、ふれあいランド岩手、36 人

(ウ) 福祉施設の自己評価・第三者評価研修会

期日、会場、参加者：7 月 27 日、28 日、岩手県民会館、21 事業所、27 人

(エ) 評価調査者スキルアップ研修会（評価調査者の会との共催研修）

期日、会場、参加者：7 月 26 日、11 月 20 日、両日ともふれあいランド岩手、26 人及び 27 人

(オ) 社会的養護等施設評価調査者の養成・継続研修

養成研修：2 月（オンデマンド）、5 人

計測研修：3 月（オンデマンド）、8 人

5 多様な組織等との連携協働

（１）種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組とサービス利用者の福祉増進

① 市町村社会福祉協議会部会事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 幹事会

<第 1 回>期日、会場：4 月 22 日、ふれあいランド岩手

<第 2 回>期日、会場：2 月 22 日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

イ 監査

期日、会場：5 月 17 日、ふれあいランド岩手

ウ 理事会

<第 1 回>期日、会場：5 月 17 日、ふれあいランド岩手

<第 2 回>期日、会場：3 月 1 日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

エ 正副会長会議

期日、会場：2 月 18 日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

オ 総会

<臨時>（書面評決）

<定期>期日、会場：3 月 15 日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

期日、会場：3 月 18 日、ふれあいランド岩手

カ 調査事業の実施

市町村社会福祉協議会役職員名簿、社協の概要、市町村社協福祉サービス等実施状況調査報告書

※ 懇談会及び研究会の開催、研修の実施等については 2 ページから 4 ページを参照

② 種別協議会活動推進事業 **【福祉経営支援部】**

ア 社会福祉法人経営者協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日：3月、書面決議
- b 幹事会
期日、会場：5月10日、ふれあいランド岩手
2月25日、オンライン開催
- c 正副会長会議
期日、会場：8月24日、書面決議
9月16日、書面決議
2月10日、岩手県水産会館
- d 地域公益活動専門部会会議
期日、会場：5月10日、ふれあいランド岩手
- e IWATE・あんしんサポート事業連絡会議
期日、会場：2月10日、岩手県水産会館

(イ) 研修会の開催

- a 中長期経営計画策定セミナー
期日、会場、参加者：1月13日、ふれあいランド岩手、37人
 - b 地域福祉推進トップセミナー
(岩手県社協市町村社会福祉協議会部会との共催)
期日、会場、参加者：2月1日、ふれあいランド岩手、99人
 - c 都道府県経営協セミナー
(全国経営協との共催)
期日、会場、参加者：12月22日、オンライン開催、33人
 - d 社会福祉法人の事業展開のあり方に関する研修会
期日、会場、参加者：2月9日、オンライン開催、68法人
 - e あんしんサポート相談員養成研修
(第1回)
期日、会場、参加者：6月29日、岩手県水産会館、27人
(第2回)
期日、会場、参加者：1月27日、オンライン開催、11人
 - f 生活困窮者支援研修会（あんしんサポート相談員スキルアップ研修会）
期日、会場、参加者：10月11日、ふれあいランド岩手、32人
- (ウ) IWATE 子ども夢基金事業の実施（青年会事業：岩手県民共済の助成により実施）
- a IWATE 子ども夢基金事業
内容、助成人数：生活困窮世帯の子どもが対象、助成14人（応募18人）

(エ) 関係機関団体との連携

- a 北海道・東北ブロック協議会会長会議
期日：4月、7月、10月、11月、12月、2月
- b 北海道・東北ブロックセミナーin 宮城
期日、会場：10月12日、オンライン開催
- c 全国経営協ブロック会議（北海道・東北ブロック）

- 期日、会場：7月14日、オンライン開催
- (オ) 新型コロナウイルス感染症関連
県経営協会の会費免除 5 法人
- イ 高齢者福祉協議会
- (ア) 会議の開催
- a 総会（書面決議）
期日：3月、書面決議
 - b 幹事会
期日：5月28日、オンライン開催、3月4日、オンライン開催
 - c 正副会長会議
期日、会場：7月15日、岩手県水産会館
- (イ) 研修会の開催
- a 令和3年度東北ブロック老人福祉施設研究会
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和4年度へ延期
 - b 令和3年度いわて福祉施設職員研修会（オンライン開催）
期日、参加者：11月19日（ライブ配信）、68人
12月3日～3月31日（オンデマンド配信）、194回視聴
 - c 令和3年度岩手介護施設等合同入職式
代替事業、「ようこそ！介護の世界へ」の配信
期日：11月11日～30日、222回視聴
 - d 令和3年度介護施設の組織活性・介護人材育成研修会（オンライン開催）
期日、参加者：1月24日（ライブ配信）、68人
2月7日～3月31日（オンデマンド配信）、79回視聴
 - e 令和3年度科学的介護情報システム（LIFE）研修会（オンライン開催）
期日、参加者：3月8日（ライブ配信）、209人
3月15日～30日（オンデマンド配信）、352回視聴
 - f 令和3年度介護施設・事業所における業務継続計画（BCP）作成支援研修（オンライン研修）
期日、参加者：9月24日（ライブ配信）、57施設
10月8日～3月31日（オンデマンド配信）、256回
- (ウ) 介護の質の向上に対する支援
介護職員初任者研修事業費助成事業 3施設 30万円
- (エ) 委員会の開催
- a 制度政策委員会
期日：7月9日、オンライン開催
 - b 調査研究委員会
期日：2月4日、オンライン開催
 - c 総務委員会
期日：11月10日、オンライン開催、12月14日、オンライン開催
 - d 21世紀委員会
期日：7月1日、オンライン開催、8月6日、オンライン開催、9月30日、オンライン開催、
2月14日、オンライン開催
- (オ) 部会の開催

- a 養護老人ホーム部会
期日：10月8日、オンライン開催、1月14日、オンライン開催
- b 軽費老人ホーム・ケアハウス部会
期日：1月14日、オンライン開催
- (カ) 関係機関・団体との連携
 - a 岩手県保健福祉部長寿社会課との情報・意見交換会
期日、会場：7月15日、岩手県水産会館
 - b 軽費老人ホーム・ケアハウスに従事する職員の給与改善の実現に向けた事務費の引上げに係る要望書の提出
期日、会場：1月18日、岩手産会館
- (キ) 新型コロナウイルス感染症への対応
 - a 見舞金交付 2施設
 - b 応援施設への助成 6施設
- ウ 障がい者福祉協議会
 - (ア) 会議の開催
 - a 総会
期日、会場：3月 書面開催
 - b 幹事会
期日、会場：5月11日、ふれあいランド岩手
8月2日、岩手県民会館
3月9日、オンライン開催
 - c 正副会長会議
期日、会場：7月13日、ふれあいランド岩手
2月7日、オンライン開催
 - (イ) 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者福祉協議会との懇談会
期日、会場：8月2日、岩手県民会館
内容：意見交換
 - 岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会提出意見交換テーマ
 - 障がい児支援に関すること
 - 人材確保及び人材定着に関すること
 - 市町村への指導に関すること
 - 新型コロナウイルス感染症に関すること
 - 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課提出意見交換テーマについて
 - 意見・要望書提出
 - 岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会会員事業所・施設からの障害福祉サービスの充実にに向けた意見・要望の提出
 - (ウ) 研修会の開催
 - a 虐待防止と権利擁護に関する研修会（令和2年度総会と併催）
1月20日に開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止
 - b 精神障がい者支援研修会の開催
開催中止
 - c サービス管理責任者フォローアップ研修会
サービス管理責任者の法定研修が充実してきているため、開催取り止め

- d グループホームの世話人を対象とした研修会の開催
 県南ブロック
 期日、会場、参加者：11月24日 奥州市「奥州市役所江刺総合支所」 62人
 内容：「〇〇さんへの理解を深めよう」～よりよい支援につなげるために～
 中央ブロック
 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- e 役職員研修会の開催
 期日、会場、参加者：12月13日、盛岡市「アートホテル盛岡」、50人
 内容：講話「障がい者にとって「働く」とは？」
 講演「グループホームが果たしてきた役割と課題から見える将来像について」
- f 課題対応研修
 未実施

(エ) 委員会、部会の開催

- a 研修委員会
 期日、会場：7月7日、都南公民館
- b 調査研究委員会
 期日、会場：7月1日、ふれあいランド岩手
 12月27日、ふれあいランド岩手（小委員会）
 2月17日、オンライン開催
- c 社会就労部会
 社会就労部会事業検討会
 期日、会場：10月29日、都南公民館
 社会就労部会会員事業所製品販売会の開催
 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 働く仲間の集い
 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 社会就労部会障がい者就労支援事業所利用者支援活動費助成
 新型コロナウイルスの影響により、会員事業所製品販売会及び働く仲間の集いの開催中止に伴い、部会会員事業所の利用者のモチベーションや就労意欲を維持の取組を支援するため、取組に対する助成を実施
 助成事業所 27事業所
 助 成 額 366,680円
- d 障がい児支援部会
 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- e 障がい者生活支援部会
 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) 調査事業

- a 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う障がい者就労支援事業所への影響調査の継続実施
- b 新型コロナウイルスワクチン接種状況に関する調査の実施

エ 保育協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
 期日：3月（書面議決）

- b 常任委員会
期日、会場：4月23日、6月1日、11月25日、2月28日、ふれあいランド岩手ほか
- c 正副会長会議
期日、会場：4月23日、11月25日、2月2日、ふれあいランド岩手ほか

(イ) 研修会の開催

- a 岩手県保育研究大会
期日、会場、参加者：6月16日、岩手産業文化センター（アピオ）
参集120人、オンライン配信参加者123人
内容：分科会発表、ブロック大会代表発表者選考会
- b 実技講習会
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- c 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修（花巻ブロック保育協／岩手県社協・保育協主催）
期日：6月30日、10月29日、11月22日
会場、参加者：なはんプラザ、ホテルグランシェール花巻、全部修了29人
- d 「令和4年度保育研究大会」研究テーマ研修会
期日、会場、参加者：12月8日、アイーナ
参集20施設33人、オンライン開催49施設118人
内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表
- e 岩手県保育指導者セミナー
期日、会場、参加者：3月22日、オンライン開催、16施設27人
内容：人口減少地域における保育の在り方についての講演

(ウ) 部会、委員会の開催

- a 専門委員会（調査研究・制度政策）
期日、会場：6月1日、11月25日、ふれあいランド岩手ほか
内容：広報作成、人材育成・確保の課題、行政及び他機関との連携 等
- b 保育所長・保育者部会
期日、会場：2月18日、オンライン開催
内容：調査結果報告「保育施設における新型コロナウイルス感染症対策と子育て支援に関するアンケート調査について」
講義「子どもの主体的な育ちを実現する環境づくりに向けて～保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の観点から～」
参加者：オンライン開催38施設63人

(エ) 他団体等との連携（北海道・東北ブロック保育協議会）

- a 研修会
保育指導者セミナー、公立保育所等トップセミナー、次世代リーダー研修会、保育士会リーダーセミナーの開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- b 北海道・東北ブロック保育研究大会
期日、会場：9月1日～30日、オンライン（オンデマンド動画配信）開催
内容：基調報告、情勢報告（行政報告）、分科会
- c 保育協議会会長会議
期日、会場：5月18日、7月1日、1月11日、オンライン開催
- d 保育士会長会議

期日、会場：6月15日、オンライン開催

※ 幹事会、正副会長会議の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) その他

- a 新型コロナウイルス感染症ワクチン優先接種等に関する緊急要望書ひな型の作成、会員への配布（日保協及び私保連と協同実施）
- b 岩手県保育三団体オンライン情報交換会への出席
期日、会場、出席者：4月26日、オンライン開催、保育協会長ほか2人
- c 保育施設における新型コロナウイルス感染症対策と子育て支援に関するアンケート調査の実施（岩手県立大学と協同実施）

オ 児童福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

a 幹事会

期日、会場：5月25日、12月20日、3月7日

ふれあいランド岩手（オンライン併用）、アイーナ

b 専門委員会

期日、会場：7月8日、11月4日

ふれあいランド岩手（オンライン併用）

(イ) 会員情報ホームページの運営

ホームページによる施設情報の更新を行った。

(ウ) 県との意見情報交換会

期日、会場：5月25日、ふれあいランド岩手（第1回幹事会開催時に実施）

(エ) 研修会の開催

a 児童福祉施設職員研修会

期日、会場、参加者：2月15日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）

参集3人、オンライン開催15人

内容：職員のメンタルヘルスについての講義、演習

※ 施設間交流研修会（岩手県里親会共催）、児童福祉のしごと出前講座は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) 研修参加への助成

研修助成事業として、3施設（一関藤の園、和光学園、岩手県立杜陵学園）に対し、計80,000円を助成した。

(カ) その他

a 新型コロナウイルス感染症ワクチン優先接種等にかかる緊急要望の実施

期日、会場、出席者：6月9日、県庁、県子ども子育て支援室長ほか2人、児童協会長ほか3人

b 人材確保等に関する会員状況調査の実施

c 県への要望に向けた児童協会施設の要望事項調査の実施

カ 児童館・放課後児童クラブ協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月（書面議決）

b 幹事会

期日、会場：5月14日、ふれあいランド岩手

12月2日、ふれあいランド岩手

2月21日、アイーナ

c 正副会長会議

期日、会場：未開催

d 館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会

期日、会場：5月14日、ふれあいランド岩手

内容：①館長等委員会委員長・副委員長、児童厚生員等委員会副委員長の選任

②令和3年度の事業推進等について

・県との意見交換会について

・全国児童館児童クラブみやぎ大会の参加について

(イ) 研修会の開催

a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会

<第1回> 期日、会場：6月16日、アイーナ

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「健全育成論」、44人

<第2回> 期日、会場：12月20日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「個別援助活動」、30人

出前講座「感染症対策について」18人

b 児童館職員等研修会

期日、会場：11月15日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「配慮を要する児童の対応」、33人

児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」34人

c 実技研修会

期日、会場：10月8日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「表現活動」、31人

(ウ) 助成事業の実施

a 各ブロック協議会活動助成

助成金額：69,000円（10ブロックへ1,000円×69施設数を助成）

b 全国児童館・児童クラブみやぎ大会参加助成

助成金額：16,000円（2,000円×8人）

(エ) いわて子どもあそび隊の活動

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和3年度活動休止

(オ) 県との意見交換会

会議名：岩手県の児童健全育成に関する意見・情報交換会

期日、会場：7月14日、岩手県公会堂

内容：行政説明「岩手県における子どもと家庭をめぐる状況及び児童健全育成に係る施策について」

県内児童館の現況及び新型コロナウイルス感染症の状況について当会から説明

(2) 多様な組織等との連携協働の推進

① 事務受託団体支援事業

[総務部・地域福祉企画部・福祉経営支援部・福祉人材研修部]

ア 公益財団法人岩手県福祉基金

令和3年度事業計画に基づき30件、6,644千円の助成を行ったほか、企業等から15件1,134千

円の寄付を基本財産に組み入れ、基本財産は 1,140,928 千円となった。

[助成の内訳]

助成区分	件数	金額（千円）
1－① 社会福祉団体活動に対する助成	27 件	4,979
1－② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業)	2 件	1,365
2 社会福祉施設整備事業に関する助成	0 件	0
3 社会福祉従事者研修事業に対する助成	0 件	0
4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成	1 件	300
計	30 件	6,644

イ 岩手県里親会

(ア) 会議の開催

a 理事会

＜第 1 回＞ 期日、会場：5 月 13 日、ふれあいランド岩手

＜第 2 回＞ 書面議決

b 監査

期日、会場：5 月 13 日、ふれあいランド岩手

c 役員会

＜第 1 回＞ 期日、会場：4 月 5 日 ふれあいランド岩手

＜第 2 回＞ 期日、会場：10 月 1 日 ふれあいランド岩手

＜第 3 回＞ 期日、会場：1 月 21 日 ふれあいランド岩手

(イ) 岩手県里親大会の開催 ※新型コロナウイルス対策により大会中止、表彰式のみ実施

期日、会場、参加者：10 月 31 日、県福祉総合相談センター、23 人（うち受賞者 10 人）

内容：岩手県知事感謝状、岩手県里親会会長表彰

(ウ) 未委託里親交流研修会

新型コロナウイルス対策により中止

(エ) 里親会交流研修会

期日、会場、参加者：12 月 4 日、ホテルメトロポリタン盛岡、34 人

内容：講義「育てにくさを抱える子どもに寄り添う」ほか

(オ) 広報紙の発行

「いわて里親通信（ニュースレター）」（8 月）

「里親いわて第 46 号」の発行（300 部）（3 月）

(オ) 表彰の実施

- ・全国里親大会表彰（1 組 2 人）
- ・岩手県社会福祉大会長表彰（3 組 5 人）
- ・岩手県知事感謝状（14 組 20 人）
- ・岩手県里親会会長表彰（8 組 13 人）

(カ) 親族里親等支援事業（県委託事業）

a 里親サロン

期日、会場：6 月～12 月（全 9 回）、宮古市総合福祉センターほか

支援会員派遣人数：33 人

延べ参加者数：28 組 32 人

b 3 地区合同交流研修会

期日、会場、参加者：11 月 14 日、下和野会館、30 人

内容：委託解除後の里子との向き合い方～親族里親OBと語ろう～

c 地区交流会

期日、会場：7月～1月（各地区1回）、魚河岸テラス（釜石市）ほか

支援会員派遣人数：14人

延べ参加者数：28人

(キ) 里親制度普及啓発キャンペーン

期日：10月中

内容：（新型コロナウイルス対策によりチラシ配布を中止）各支部長を中心に、県内商業施設にチラシを配架。

ウ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

(ア) 会議の開催

a 総会（書面議決）

期日：3月

b 理事会

期日、会場：5月24日、2月24日、ふれあいランド岩手及びオンライン開催

c 監査

期日、会場：5月24日、ふれあいランド岩手

d 調査研究委員会

期日、会場：6月29日、12月24日、ふれあいランド岩手

e 研修委員会

期日、会場：10月1日、ふれあいランド岩手

(イ) 調査研究活動

アンケート調査の実施と事業展開の検討

(ウ) 東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター職員研修会の開催

期日、会場、参加者：11月11日、12日、ふれあいランド岩手、58人及びオンデマンド配信

内容：講演「介護保険の20年～評価と展望～」

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長 中村 秀一 氏

パネルディスカッション

「地域共生社会の実現に向けた介護予防・地域づくりの推進」

コーディネーター、助言者、パネリスト

(カ) その他

a 広報活動

・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供

・広報発行「広報つながり vol.25・26・27」 高齢協合同発行（PDFによるメール配信）

b 地区協議会活動の推進

4つの地区協議会の活動のために活動費152,000円を交付

エ 岩手県知的障害者福祉協会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：4月28日、アートホテル盛岡

b 監査

期日、会場：4月21日、ふれあいランド岩手

c 理事会

期日、会場：4月23日、ふれあいランド岩手

6月1日、ふれあいランド岩手

2月8日、オンライン開催

3月2日、オンライン開催

d 正副会長会議

期日、会場：10月8日、オンライン開催

(イ) 研修・指導

a 新任職員研修会

期日、会場、参加者：10月4日、アートホテル盛岡、45人

内容：講義「対人サービスの視点から接遇を考える」

講話「令和2年度新任職員研修に参加して働く上での考え方やモチベーションの向上に役立ったこと」

グループ討議「こんな時どうする？～仕事の困ったをみんなで共有～」

b 中堅研修会

期日、会場、参加者：11月19日、アートホテル盛岡、49人

内容：講義「感情管理とメンタルヘルス」

講義・グループ討議「障がい者福祉サービス事業所の感染事例から現場支援について考える」～新型コロナウイルス 県外の感染事例より～

c 岩手県知的障害者施設職員研修大会

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い参集での開催を中止し、オンデマンド配信に切り替え実施。

期日、会場、参加者：2月24日から3月10日まで オンデマンド配信 28施設

内容 情勢報告

事例報告「新型コロナウイルス感染下での利用者支援と、平時からの感染防止策について考える」

(ウ) 部会等の開催

a 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議

期日、会場、参加者：4月28日、アートホテル盛岡、37人

内容：各部会施設での課題の整理、共有と部会、委員会の今後の事業実施内容について協議

b 各部会の開催

・児童発達支援部会

第19回全国児童発達支援施設運営協議会（岩手大会）に向けた取組

第19回全国児童発達支援施設運営協議会（栃木大会）の視察

期日、会場、参加者：令和3年12月1日 鉄道弘済会

実行委員会

第1回 期日、会場：2月28日、オンライン開催

児童発達支援部会正副部会長打合せ

第1回 期日、会場：12月21日、オンライン開催

第2回 期日、会場：2月8日、オンライン開催

第3回 期日、会場：3月23日、オンライン開催

部会会議

期日、会場：6月29日 てしろもりの丘

部会研修会

期日、会場、参加者：11月15日 岩手県水産会館 40人

内容：講義「障害児支援におけるソーシャルワークの可能性」

実践報告

(エ) 委員会

a 政策委員会

期日、会場：8月26日、オンライン開催

b 研修・事業委員会

期日、会場：6月9日 都南公民館、8月6日 都南公民館、

12月23日 ふれあいランド岩手

c 支援スタッフ委員会

・委員会

期日、会場：5月24日、オンライン開催

7月14日、オンライン開催

8月23日、オンライン開催

9月22日、オンライン開催

11月10日、オンライン開催

・視察研修

期日、視察先、参加者：1月7日、maru 盛、6人

d 再発防止委員会

期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手

e 特別委員会

期日、会場：7月19日、ふれあいランド岩手

11月9日、ふれあいランド岩手

12月19日、オンライン開催

(オ) 他団体等の連携

a 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者関係団体との意見交換会への意見提出

b 日本知的障害者福祉協会との連携・協力

c 東北地区知的障害者福祉協会との連携・協力

(カ) その他

a 会員施設状況調査の実施

b その他各種調査・研究

c 広報・機関紙「県知福協ニュース」の発行（1回＋号外1回）

d 職員研修費助成事業

申込がなかった

e 第25回スポーツ交流会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

f スポーツチャレンジ企画「利用者・会員施設対抗輪投げチャレンジ」

中止した第25回スポーツ交流会の代替企画として実施。

25施設628人の参加があり、施設賞として平均得点上位5施設、個人賞として10位までの得点上位者、20位以下の10位ごとの飛び賞並びにブービー賞を表彰。

g 岩手県知的障害児者サポート協会

会員数：2,294人

オ 東北地区社会就労センター協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場、出席者：6月（書面議決）

b 監査

期日、会場：5月21日、ふれあいランド岩手

c 正副会長会議

期日、会場：2月18日、オンライン開催

d 役員会

期日、会場：5月 書面議決、6月25日、オンライン開催、
11月11日、オンライン開催 3月4日、オンライン開催

(イ) 研修会等の開催

a 施設長連絡会議

- ・ 期日、会場、参加者：2月1日、オンライン開催、38人
内容：情勢報告

講義「社会福祉法人におけるBCP策定のポイント」

b 職員研修会

- ・ 研修委員会
期日、会場：9月1日、オンライン開催
- ・ 職員研修会
新型コロナウイルスの感染拡大により、9月に開催予定であった施設長連絡会議との併催で企画しようとしたが、感染がおさまらないことから、全国社会就労センター協議会総合研究大会（北海道大会）への参加費助成に切り替え実施した。

【助成実績】 10施設 50,000円

カ 一般社団法人岩手県介護福祉士会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：6月6日、ふれあいランド岩手、14人（委任状228通）

b 正副会長会議

＜第1回＞ 期日、会場：5月27日、オンライン開催
＜第2回＞ 期日、会場：9月1日、オンライン開催
＜第3回＞ 期日、会場：2月1日、オンライン開催
＜第4回＞ 期日、会場：3月17日、オンライン開催

c 理事会

＜第1回＞ 期日、会場：6月6日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
＜第2回＞ 期日、会場：9月27日、オンライン開催
＜第3回＞ 期日、会場：2月18日、オンライン開催
＜第4回＞ 期日、会場：3月29日、オンライン開催

d 監査

期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）

(イ) 研修会の実施

a 岩手県社会福祉士会との合同研修会

期日、会場、参加者：6月6日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）、19人

- b 岩手県立大学社会福祉学部介護研修会（共催）
期日、会場、参加者：10月10日、岩手県立大学、約50人
- c 介護福祉士基本研修
期日、会場、参加者：11月1日、8日、15日、22日、ふれあいランド岩手、10人
- d 介護福祉士実習指導者特別講習会
期日、会場、参加者：11月1日、8日、15日、22日、ふれあいランド岩手、35人
- e 上条百里奈氏講演会
期日、会場、参加者：11月27日、いわて県民情報交流センターアイーナ、33人
- f 介護福祉士国家試験受験対策筆記模擬試験
期日、会場、参加者：12月6日、ふれあいランド岩手、27人
- g 岩手県立大学社会福祉学部 VR 認知症体験会（共催）
期日、会場、参加者：12月14日、一戸町コミュニティセンター、約50人
- h 介護職種の技能実習指導員講習会
期日、会場、参加者：1月17日、ふれあいランド岩手、22人
- i 倫理・災害ボランティア・現任者研修会
期日、会場、参加者：2月13日、オンライン開催、17人
- j 「介護の日フェスタ」の開催
期日、会場、来場者：11月13日、イオンモール盛岡南、約400人
内容：介護相談・おしごと相談、福祉用具・介護用品の展示、認知症チェック・間違い探し、
クリアファイル配布、輪投げ

キ 岩手県介護支援専門員協会

（ア）会務運営

- a 定時総会
期日、会場、参加者：6月20日、参集40人、委任状1,532通
内容：令和2年度事業報告・決算、令和3年度事業計画・予算
- b 監査
期日、会場：5月14日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
＜第1回＞ 期日、会場：6月20日、岩手県公会堂
＜第2回＞ 期日、会場：3月12日、オンライン開催
- d 役員会
＜第1回＞ 期日、会場：4月14日、ふれあいランド岩手（オンライン併用）
＜第2回＞ 期日、会場：5月10日、オンライン開催
＜第3回＞ 期日、会場：10月12日、オンライン開催
- e 正副会長会議
＜第1回＞ 期日、会場：4月12日、ふれあいランド岩手
＜第2回＞ 期日、会場：9月3日、ふれあいランド岩手
＜第3回＞ 期日、会場：3月5日、オンライン開催
- f 新型コロナウイルス感染症に係る情報交換会
期日、会場：2月14日、オンライン開催

（イ）研修会の実施

- a 介護報酬改定研修会
期日、会場、参加者：4月26日～5月20日、県内11会場、約230人

- b 定例研修会
 - <第1回> 期日、会場、参加者：6月20日、岩手県公会堂（オンライン併用）、249人
 - <第2回> 期日、会場、参加者：12月11日、オンライン開催、190人
- c 令和3年度在宅医療人材育成研修事業（3地区で開催）
 - 期日、会場、参加者：（盛岡地区・岩手地区）9月22日、サンセール盛岡（オンライン併用）、88人
 - （釜石地区）12月2日、あえりあ遠野、32人
 - （久慈地区）1月21日、久慈市総合福祉センター、52人

ク 岩手県ホームヘルパー協議会

（ア）会務運営

- a 総会
 - 方法、結果：書面議決、提出52人（賛成52人）
- b 監査
 - 期日、会場：4月26日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
 - <第1回> 期日、会場：4月26日、ふれあいランド岩手
 - <第2回> 期日、会場：3月16日、オンライン開催

（イ）研修会の実施

- a ホームヘルプセミナー
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- b 現任者研修会
 - <第1回> 期日、方法、参加者：7月1日～7月31日、動画配信、35事業所
 - テーマ：新型コロナウイルス感染症対策 part2
 - <第2回> 期日、会場、参加者：10月7日、ふれあいランド岩手、18人
 - テーマ：①「多職種連携の重要性 ～高齢者の在宅生活を支える専門職として～」
 - ②「人材確保・育成・定着に向けた取組について」

6 指定管理施設の管理運営

（1）ふれあいランド岩手の管理運営 [ふれあいランド岩手]

① 施設の利用状況

令和3年度の施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、8月15日から9月16日までを全館休館としたこと等の影響により、142,367人と年間目標を下回った。平成6年の開館からの累計利用者数は5,762,360人となった。

ア 施設区分別利用状況

（単位：人）

区 分	文化施設	スポーツ施設	合 計
本年度	24,916	117,451	142,367
開館からの累計	1,511,598	4,250,762	5,762,360

イ 利用者区分別利用状況

（単位：人）

区 分	障がい者	介護者	高齢者	学生等	一般	ボランティア	幼児
本年度	10,770	2,160	69,194	22,225	34,619	770	2,629
累 計	523,638	89,893	1,560,180	993,859	2,368,992	51,789	174,009

② 教室等の開催状況

障がい者や高齢者等を中心としたスポーツ教室、文化教室を開催した。

ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ＆水中歩行教室」など 12 のスポーツ教室を延べ 190 回開催し、2,806 人が参加した。

イ 文化教室

障がい者や高齢者等、受講者間の交流を目的とした「ものづくり教室」など 4 の文化教室を延べ 19 回開催し、187 人が参加した。

③ 各種イベントの開催状況

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体などの協力を得て、各種イベントを開催した。

イベント名	開催日	参加者数
ちびっこキャンペーン	5 月 1 日～8 月 14 日	582 人
ふれあいサマー体験 2021	7 月 22・23・25 日 8 月 6・7・9 日	433 人
健康測定会	10 月 9 日	40 人
ふれあいスポーツフォーラム	1 月 23 日	26 人
さわやか交流水泳記録会	1 月 29 日	65 人
体組成分測定会	2 月 28 日	88 人

④ 各種支援事業等の実施状況

地域と連携し、障がい者や高齢者への運動指導に携わる指導者に指導のノウハウを伝えるとともに、障がい者や高齢者等の利用者を対象として運動指導を実施した。また、スポーツ教室及び文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めた。

・いわてスポーツネットワーク事業	延べ 2 回	参加者 11 人
・リフレッシュ教室 来館指導	延べ 5 回	参加者 72 人
訪問指導	延べ 12 回	参加者 404 人
・スポーツ支援事業 来館指導	延べ 81 回	参加者 1,167 人
訪問指導	延べ 17 回	参加者 286 人
・サポートタイム 個別指導	延べ 453 回	参加者 462 人
・小学生等の福祉体験協力支援	4 回	参加者 281 人

⑤ ボランティアの養成等

「初心者手話教室」(5 回開催、延べ 32 人参加)や「ワンポイント手話教室」(2 回開催、延べ 17 人参加)を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

⑥ 利用者・団体等のニーズの把握

利用者のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、施設利用に関するアンケート調査を実施した。

7 県社協の活動基盤の強化

(1) 県社協財政基盤の適正化 [総務部]

① 自主財源の確保

企業、団体及び病院（1,584 か所）に対し協賛金の協力を呼びかけるなどして自主財源の確保に努めた。

・入金実績：297 件 3,310,000 円（前年度 302 件 3,418,000 円）

② 経費の削減

見積り合わせの徹底などによる事務諸費（消耗品費、コピー機使用料、光熱水費、車輛燃料費、通信運搬費、P C 等事務機器賃借料等）の削減に努めた。

・事務諸費総額 40,744 千円（対前年度 3,665 千円 8%減）

(2) 組織強化のための取組の推進 [総務部]

① 会計監査人の設置

会計監査人を設置して期中監査を受けるなどしてガバナンスの強化に努めた。

② 税理士等への業務委託

税理士や社会保険労務士等の専門家への業務委託の検討と個別業務においては適宜相談を行った。

③ 職員の育成

職員研修計画に基づき職員研修を実施し職員の資質向上を図った。

（新採用職員研修 7 人、全社協会計実務講座 2 人、全社協管理職員研修 1 人、全社協中堅職員研修 3 人、全社協新任職員研修 2 人、メンタルヘルス研修会）

④ 会員の拡大

新施設等から会員加入があった。（新規加入 11 施設法人）

8 会務の運営

(1) 理事会の開催 [総務部]

＜第 1 回＞ 開催日：6 月 8 日

議 案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について

令和 2 年度事業報告について

令和 2 年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について

諸規程の一部改正について

評議員選任・解任委員会委員の選任について（補充選任）

評議員選任・解任委員会委員の選任について

評議員候補者の推薦について

評議員選任・解任委員会の招集について

理事及び監事候補者の推薦について

評議員会の招集について

顧問の委嘱について

＜第2回＞ 開催日：6月25日

議案：会長、副会長及び専務理事の選定について
会計監査人の報酬について

＜第3回＞ 開催日：3月17日

議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
諸規程の一部改正について
社会福祉法人岩手県社会福祉協議会活動計画 2019-2023 の一部変更について
令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
令和4年度事業計画について
令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支予算について
評議員選任・解任委員会委員の選任について
評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催 [総務部]

＜第1回＞ 開催日：6月25日

議案：令和2年度事業報告について
令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
理事及び監事の選任について

＜第2回＞ 開催日：3月25日（決議の省略）

議案：役員等の報酬、旅費及び費用弁償に関する規程の一部改正について
社会福祉法人岩手県社会福祉協議会活動計画 2019-2023 の一部変更について
令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支補正予算について
令和4年度事業計画について
令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支予算について
決議があったとみなされる日について

(3) 監事等による監査の実施 [総務部]

① 監事監査及び出納調査

＜第1回＞ 実施日：6月3日

内 容：令和2年度第4四半期の出納調査及び決算監査
各会計における資金の管理運用の状況
令和2年度事業について
令和2年度収支決算について

＜第2回＞ 実施日：9月7日

内 容：第1四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

＜第3回＞ 実施日：11月18日

内 容：第2四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

＜第4回＞ 実施日：2月9日

内 容：第3四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

② 会計監査人による監査

＜決算監査＞ 実施日：5月24～26日

＜期中監査＞ 実施日：9月21・22日、10月18・19日、2月24・25日、3月28～30日

③ 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第72条に基づき、内部監査人4人を選任し内部監査を実施

監査項目： ・小口現金、寄付金の状況 ・資産管理の状況 ・伝票と証拠書類の照合
・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む） ・契約に関する書類確認
・その他、適宜監査の必要があるもの

実施日：5月31日、8月30日、11月12日、1月27日

9 岩手県社会福祉大会

岩手県社会福祉大会の開催 [\[地域福祉企画部\]](#)

期日、会場、参加者：11月2日、岩手県民会館大ホール、約200人

被表彰者数：732人、43団体、3組

岩手県知事表彰（34人、3団体）

岩手県知事感謝状（9人）

岩手県社会福祉大会会長表彰（187人、40団体、3組）

岩手県社会福祉大会会長褒賞（25人）

岩手県民生児童委員協議会会長表彰（477人）